

消 防 年 報

2026



令和 8 年度刊行
飯 田 広 域 消 防 本 部



は じ め に

この消防年報は、南信州広域連合飯田広域消防本部の現勢と、令和7年度中における消防業務の実態と統計を収録したものです。

今後の消防行政の円滑な推進を図るとともに、当消防本部に対する御理解を深めていただくための参考資料として御活用願えれば幸いです。

なお、諸表における数値は、主に会計年度でまとめてありますが、火災、救急、救助等の統計については暦年でまとめてあります。

令和8年9月

南信州広域連合 飯田広域消防本部

目 次

一目統計	
令和 8 年度 飯田広域消防の主な事業計画	1
消防の沿革	2
火災史	10
飯田広域消防管内地勢	12
署所等の所在地	13
関係市町村別面積・人口・世帯数	13
消防庁舎等概要	14
総 務	
南信州広域連合理事者等	18
歴代消防長	18
南信州広域連合組織機構図	19
飯田広域消防本部組織機構と職員配置	20
職員階級別年齢	21
職員階級別勤続年数	21
消防予算	22
予 防	
防火対象物の現況	24
中高層建物の状況	26
防火対象物の予防査察実施状況	27
防火対象物の防火管理状況	28
防火管理者資格取得講習会実施状況	29
消防同意事務件数	30
危険物施設の状況	31
危険物施設立入実施件数	32
各種申請届出書受理件数	32
警 防	
消防機械等の現況	34
特殊災害等対応資機材配置状況	37
緊急消防援助隊等の派遣実績	38
通信指令	
通信指令設備状況	42
緊急通報回線設置状況	43
無線系設備	43
消防通信設備の現況	44
統 計	
火 災	
月別 出火状況	46
市町村別 出火件数	47
最近 5 年間の出火状況	47
市町村別 損害額・出火率	48
原因別 出火件数	49
時間帯別 出火状況	50
覚知別 通報状況	50

救 急

月別・署別 救急出動件数	51
月別・事故種別 救急出動件数	51
年齢区分・事故種別 搬送人員	52
救急隊員の行った応急処置	53
市町村別・事故種別 救急業務実施状況	54
医療機関別・事故種別 搬送人員	56
最近5年間の救急出動件数	57
住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況	57
飯伊地域メディカルコントロール事後検証会実施状況	57

救 助

救助出動状況	58
人員・車両区分別 救助活動状況	58
市町村別・事故種別 救助出動状況	59
月別・署別 救助出動件数	60
最近5年間の救助出動件数	60

その他

ヘリコプターとの連携状況	61
種別・署別 出動状況	62
月別 119 番等緊急通報受付状況	64
月別・受付回線別 119 番等緊急通報受付状況等	64
知事の権限に属する事務の処理の概要	65

消 防 団

関係市町村の消防団長・副団長	68
消防団の現況	69

関係団体

南信州危険物安全協会	72
飯田地区防火管理者協議会	72
飯田地区幼少年婦人防火委員会	73

一 目 統 計

令和 8 年 4 月 1 日現在(令和 8 年度消防現勢等調査の数値)

市町村	面積(k㎡)	人口(人)	世帯数(戸)	消防団員数(人) ()は内数で女性団員数		各市町村 常備消防費(千円)
飯田市	658.66	93,092	40,464	725	(34)	927,977
松川町	72.79	12,215	4,859	211	(8)	173,406
高森町	45.36	12,418	4,641	145	(12)	171,174
阿南町	123.07	3,844	1,891	135	(7)	101,035
阿智村	214.43	5,805	2,377	309	(29)	129,336
平谷村	77.37	367	188	36		14,675
根羽村	89.97	789	370	49	(8)	25,971
下條村	38.12	3,308	1,262	129	(9)	78,830
売木村	43.43	449	252	21		16,099
天龍村	109.44	977	578	39	(5)	34,317
泰阜村	64.59	1,391	627	62		39,536
喬木村	66.61	5,736	2,143	151	(6)	107,032
豊丘村	76.79	6,414	2,261	180	(10)	112,228
大鹿村	248.28	843	459	36	(7)	39,048
合 計	1,928.91	147,648	62,372	2,228	(135)	1,970,664

令和 8 年 4 月 1 日現在

署所数		消防職員数		予 算
消防本部	1 本部(4 課)	条例定数	235人	飯田広域消防特別会計
消防署	4 署	実員	225人	予算総額 2,483,600千円
分署	6 分署	(内 女性)	6 人	(令和 8 年度当初予算)

令和 7 年中

火災件数		救急件数		救助件数	
出火件数	57件	出動件数	8,534件	出動件数	110件
(内訳)		搬送人員	8,118人	活動件数	88件
建物火災	23件	(主な事故種別)		救助人員	93人
林野火災	6件	急病	5,734件	(主な事故種別)	
車両火災	4件	一般負傷	1,470件	交通事故	42件
その他	24件	交通事故	378件	建物等による事故	14件
(主な出火原因)		労働災害	103件	機械による事故	7件
1 位 たき火	14件	自損行為	70件	水難事故	5件
2 位 火入れ	6件	上記以外	779件	火災	4件
3 位 排気管	4件			上記以外	38件

令和 8 年 4 月 1 日現在

消防車両等 合計68台(無人航空機含む)					
ポンプ車	12台	水槽車	1 台	支援車	3 台
小型ポンプ付積載車	1 台	救急車	13台	査察広報車	15台
はしご車	1 台	人員搬送車	1 台	一般車	連絡車等 4 台
化学車	1 台	資機材搬送車	5 台	二輪車	1 台
救助工作車	2 台	指揮車	4 台	無人航空機(ドローン)	4 台

令和8年度 飯田広域消防の主な事業計画

○ 地域防災力強化と次世代育成事業

- 自主防災意識の向上に向けた次世代育成と防災教育の推進
- 研修・訓練を通じた人材育成の推進（消防職員・消防団員）
- 高齢者を始めとする住民対象防火講話の推進
- 管内事情を踏まえた消防体制づくりと確立（遠隔地対策）
- 防火対象物・危険物施設の違反是正及び予防対策の推進

○ 災害対応力の充実強化事業

- 訓練内容の見直しと組織内の技術・知識等の標準化を図った消防活動の充実（消防訓練実施計画の策定）
- 救助活動要領の策定及び見直しによる組織内の技術・知識等の標準化を図った救助活動の充実（救助活動の高度化と資機材整備）
- 救急教育訓練実施要綱に基づく研修・訓練による隊員の質向上がもたらす救急活動の充実（救急活動の高度化と資機材整備）
- 警防分野におけるマイナンバーカード・情報端末等を利活用したDXの推進

○ 消防施設等の維持及び整備事業

- 南信州広域連合公共施設等総合管理計画に基づく計画的な消防施設の建替え、維持及び改修（長寿命化と財政負担の平準化）
平谷分署移転新築に係る設計業務
- 消防車両や活動資機材の計画的な更新整備及び維持管理

○ 消防事務連携・協力事業

- 消防通信指令体制の整備（指令事務の運用について検証）
- 災害対応プロトコルの作成と検証
- 木曽広域消防本部との連携・協力による無線環境の整備
- 消防業務システム構築の検討及びDXの推進

消防の沿革

1 飯田市編

- 昭和17年 4 月 太平洋戦争の戦局が一段ときびしさを増し、戦時下の防火体制を強化するために警防団に常備消防班が設置され、消防ポンプ自動車 1 台、常備消防隊13名の陣容によって発足する。
隊長に田中西造氏就任
- 昭和22年 9 月 消防団令公布により飯田市警防団を廃止、新たに飯田市消防団を組織し発足する。
消防団長に木下陽康氏就任
- 昭和22年12月 消防組織法公布
- 昭和23年 3 月 消防組織法に基づき「飯田市消防本部」、「飯田市消防署」を創設
飯田市消防本部、消防署庁舎を飯田市上飯田6184番地に設置
初代消防長に、福沢福男氏就任
- 昭和23年 7 月 消防法公布
- 昭和26年10月 飯田市消防本部、消防署庁舎を飯田市鈴加町 2 丁目 4 番地に移転
- 昭和38年12月 新消防庁舎竣工(業務開始：12月23日)
- 昭和39年 7 月 飯田市消防本部(署)の組織及び庶務に関する規則制定
消防本部に 2 課 (総務課、防災課) 6 係設置
- 昭和39年10月 飯田市が鼎町・上郷村・高森町・喬木村の救急業務を受託(昭和39年10月 1 日)
- 昭和40年 4 月 上飯田地区に「消防署第1分署」を新設

2 飯田市及び消防組合編

- 昭和43年 4 月 飯田・鼎・上郷消防組合を設立、「組合消防署」を飯田市松尾上溝地籍に設置
(業務開始：5 月 1 日)
- 昭和44年 8 月 8 月 5 日、神戸市立御影工業高校菅教諭をリーダーとする一行 7 名が、松川入り蜂の巣小屋で就寝中に、台風 7 号による豪雨で発生した土石流の犠牲となった。
8 月 7 日～8 月11日(5 日間)消防団による捜索隊を編成し、西俣川・松川一円の捜索を行った。
- 昭和45年 4 月 組合消防署救急業務開始
- 昭和46年 3 月 広域消防体制の発足に伴い飯田市消防本部(署)解散

3 消防組合編 「飯田・鼎・上郷消防組合本部・消防署」

- 昭和46年 3 月 政令指定に伴い、1 市 2 町(飯田市、下伊那郡鼎町、上郷町)による「飯田・鼎・上郷消防組合本部・消防署」発足
- 昭和46年 5 月 「西分署」を飯田市伊賀良に新設(業務開始：5 月 1 日)
- 昭和47年10月 通信室を新設、一斉指令装置新設、業務開始
管理者に飯田市長松澤太郎氏就任
- 昭和48年 2 月 「北分署」を飯田市上飯田 361 番地 5 に新設、業務開始
- 昭和48年 5 月 「東分署」を飯田市座光寺3948番地 2 に新設、業務開始
- 昭和49年 5 月 「竜峡分署」を飯田市龍江4531番地 5 に新設、業務開始
- 昭和49年 7 月 北分署へ「救助隊を併設」
- 昭和50年 6 月 西分署救急業務開始
- 昭和50年 8 月 中央自動車道の開通に伴い隣接の関係町村と消防相互応援協定及び救急業務に関する覚書並びに恵那山トンネル相互応援協定を締結し、飯田インターチェンジを中心に高速道路に関する消防・救急業務開始
阿智村の救急業務を受託(昭和51年 2 月10日)

昭和51年 5 月	組織機構の一部を改正し、消防署へ通信指令室を設置
昭和51年11月	組織機構の一部を改正し、消防署を 2 方面隊(中央方面隊・南方面隊)設置 中央方面隊に救助係、査察係、南方面隊は査察係を設け 2 課 1 署 9 係 1 室 5 分署
昭和52年 1 月	竜峡分署救急業務開始
昭和52年 3 月	中央方面隊へ救助工作車を配置
昭和53年 4 月	第 2 次組織機構改正を実施し、消防本部に警防課を設け、防災課を予防課に改正 各方面隊の隊長・副隊長を専任制とし、その他組織の強化
昭和54年 1 月	南方面隊本署を飯田市松尾2700番地 1 に新築移転
昭和54年 7 月	通信機械の整備に伴い通信指令室を 3 階へ移動増築
昭和54年 8 月	東海地震に係る地震防災対策強化地域として飯田市・鼎町・上郷町を指定
昭和54年10月	各方面隊本署に救急係を設け、救急業務の強化
昭和55年 2 月	救急無線複信化となる。
昭和55年 3 月	北・西部地区7町村組合加入決定

4 広域消防編 「飯田地区広域消防組合」

昭和56年 4 月	政令指定に伴い飯田市・鼎町・上郷町・松川町・高森町・清内路村・阿智村・喬木村・豊丘村・大鹿村の 1 市 4 町 5 村により「飯田地区広域消防組合」発足 北方面隊本署を高森町山吹竜口公民館に仮設(業務開始：4 月 1 日)
昭和56年10月	北方面隊本署新築落成(高森町山吹5920番地 1) 広域化に伴い消防用同報無線親局通信施設工事完成
昭和58年 9 月	県下全域を襲った台風10号による集中豪雨により、当消防組合管内も甚大な被害 被害状況 被害総額：289億4,539万円 死者行方不明者：2 人 負傷者：8 人 家屋全壊：7 戸 半壊：30戸
昭和59年12月	飯田市と鼎町との合併に伴い組合条例、規則改正
昭和60年 4 月	組合組織機構を改正し、3 方面隊制を 3 署制とする。
昭和61年 4 月	政令指定に伴い下伊那南西部10町村(阿南町・浪合村・平谷村・根羽村・下條村・売木村・天龍村・泰阜村・上村・南信濃村)を含めた 1 市 4 町村14村により、 「飯田地区広域消防組合」発足 飯田消防本部、消防救急通信指令システム(Ⅱ型)設置工事完成
昭和61年10月	消防組合本部・飯田消防署庁舎新築落成(飯田市東栄町3345番地)
昭和62年 3 月	阿南消防署消防救急指令装置等無線施設工事完成 阿南消防署・平谷分署・和田分署庁舎合同竣工式
昭和62年 4 月	伊賀良分署を「伊賀良消防署」、松尾消防署を「松尾分署」とする。 阿南部会業務開始
昭和63年11月	管理者に飯田市長田中秀典氏を選任
昭和64年 1 月	7 日 昭和天皇崩御、8 日 年号「平成」と制定
平成元年 1 月	
平成 2 年 1 月	飯田消防署座光寺分署庁舎移転(飯田市座光寺5153番地 4)
平成 5 年 7 月	飯田市と上郷町の合併に伴い組合条例及び規則を改正
平成 6 年 1 月	飯田消防署座光寺分署に救急自動車を設置し救急業務開始

5 複合組合編 「飯伊広域行政組合 飯田広域消防本部」

平成 6 年 4 月	事務の効率化を目指し、5 一部事務組合と 1 協議会の統合・複合化が図られ、 「飯伊広域行政組合」を設立し、消防本部を「飯田広域消防本部」とする。
------------	--

- 平成 6 年 4 月 指令室を指令課に改め、高森消防署の管轄に座光寺分署を加え、予防・救急業務の充実強化を図り本部を 4 課 8 係、署を 4 署 6 分署 29 係体制
- 平成 7 年 4 月 消防署を 4 署 6 分署 33 係体制
- 平成 8 年 2 月 消防組織法に基づき消防相互応援を目的として県下 18 市町村長等による「長野県消防相互応援協定書」の調印(平成 8 年 2 月 14 日)
- 平成 8 年 3 月 消防無線基地局(第 4 装置)を消防本部指令課へ増設
建設省中部地方建設局飯田国道工事事務所により、地域防災監視施設が整備されたことに伴い、消防本部指令課へモニター設備が設置され運用開始
- 平成 8 年 9 月 伊賀良消防署、伊賀良消防署山本分署の両庁舎竣工
- 平成 8 年 10 月 伊賀良消防署、伊賀良消防署山本分署の新庁舎での業務開始
- 平成 9 年 4 月 中央自動車道、恵那山トンネル地区(日本道路公団、自主救急区域)の救急業務開始
消防署組織規程の一部を改正し、高森消防署に救急係を新設
- 平成 9 年 12 月 消防組織法に基づく消防相互応援協定を岐阜県恵南消防組合との間で締結
高森消防署増改築工事完了
- 平成 10 年 2 月 「第 18 回オリンピック冬期競技大会長野 1998」開催に伴う支援として、職員 5 名を長野市消防局へ派遣(派遣期間 2 月 5 日～2 月 24 日、県下 13 支援消防本部職員数 40 名)
- 平成 10 年 3 月 長野県防災行政連絡所として、長野県地域衛星通信ネットワーク整備事業が完成し 3 月 17 日から運用開始
消防本部消防緊急通信指令施設Ⅱ型設置工事完了
- 平成 10 年 5 月 消防緊急通信指令施設が正式稼働
- 平成 10 年 8 月 南信 7 消防本部の代表として、移動体通信 119 番受付転送業務を担当、施設を設置し業務開始
- 平成 10 年 10 月 消防組織法に基づく消防相互応援協定を愛知県あすけ地域消防組合との間で締結
- 平成 10 年 12 月 飯田消防署羽場分署庁舎移転(飯田市羽場町 1 丁目 12 番地 4)
12 月 16 日から業務開始

6 広域連合編 「南信州広域連合 飯田広域消防本部」

- 平成 11 年 4 月 「南信州広域連合」設立、
広域連合長に田中秀典飯田市長が就任
職員定数 213 名に対し、実員 214 名(飯田部会 172 名、阿南部会 42 名)
消防署組織規程の一部改正を行い伊賀良消防署へ救急係を新設
飯田消防署羽場分署 救急業務を開始
飯田地区防火管理者協議会及び飯田地区幼少年婦人防火委員会へ阿南部会加入
- 平成 11 年 6 月 梅雨前線の活発による集中豪雨で各地に被害
被害状況 河川溢水 7 件、床上浸水 1 件、床下浸水 3 件
家屋一部倒壊 1 件、避難世帯 1 件、土砂流出・崩落 5 件
- 平成 11 年 7 月 火薬類関係、委任事務開始
- 平成 11 年 10 月 長野県緊急消防援助隊合同訓練を、飯田市運動公園一帯を会場として実施
参加団体等：長野県消防防災航空隊・長野県 15 消防本部・飯田地区包括医療協議会・長野県災害救助犬隊ほか
(ヘリコプター 1 機・消防車両 50 台・参加人員 200 人)
- 平成 11 年 12 月 飯田信用金庫から消防力拡充のため、2,000 万円の寄附
- 平成 12 年 1 月 飯田消防署へ 30m 級はしご付消防自動車(4WS) 1 台を更新配置
国庫補助事業整備
- 平成 12 年 2 月 阿南消防署へ救急自動車(トヨタ アンビュランス 4WD 2B 型) 1 台を更新配置

平成12年 4 月	危険物規制事務及び火薬類許可等の事務の自治事務化 消防職員定数条例改正：定数214名 (実員215名 飯田部会173名 阿南部会42名) 派遣：飯田市 1 名、大鹿村 1 名 阿南消防署に下伊那危険物安全協会事務が移管される。 広域連合構成市町村と災害対策本部の職員派遣に関する協定が締結され、各市町村の防災会議に委員の一員として消防吏員が参加
平成12年 7 月	飯田消防署へ水難救助用ボート(一式)を新規配置
平成12年 8 月	和田分署及び平谷分署へ査察広報車を更新配置 阿南消防署、和田分署、平谷分署へ衛星携帯電話を新規配置 木曽広域消防本部との清内路トンネル内災害応援協力体制を基本とした「清内路トンネル警防計画」を策定
平成12年 9 月	秋雨前線による集中豪雨のため、平谷村、根羽村、阿智村を中心に大きな被害
平成12年10月	伊賀良消防署龍江分署へ救急自動車(トヨタアンビュランス 4WD 2B型) 1 台を更新配置
平成13年 2 月	消防本部へ査察広報車(日産 4WD)を更新配置
平成13年 3 月	阿南消防署へ資機材搬送車を新規配置
平成13年 4 月	職員定数 214名に対し、実員 216名(飯田部会 174名 阿南部会42名) 派遣：飯田市 1 名、大鹿村 1 名、長野県危機管理消防防災課消防防災航空隊 1 名
平成13年10月	伊賀良消防署山本分署へ査察広報車(スズキスウィフト4WD) 1 台を配置 寄贈：(株)セイコーアドバンス 気象観測装置を阿南消防署へ更新配置
平成13年12月	高森消防署へ小型動力ポンプ付水槽車(三菱 5000L B2型) 1 台を新規配置 阿南消防署連絡車用車庫増築 増築面積 103.56㎡
平成14年 2 月	高森消防署座光寺分署へ救急自動車(トヨタ アンビュランス4WD) 1 台を更新配置 寄贈：全国共済農業共同組合連合会長野本部
平成14年 3 月	阿南消防署へ査察広報車(トヨタプリマ)新規配置 阿南消防署へ軽積載車(三菱660cc B3型)更新配置 総務省消防庁からB.C(生物・化学)テロ対策用資機材を貸与 飯田消防署へ配置
平成14年12月	伊賀良消防署へ消防ポンプ自動車(三菱/日本ドライケミカル4WD CD-1型)1台を更新配置 阿南消防署へ消防ポンプ自動車(三菱/モリタ 4WD CD-I 型) 1 台を更新配置 阿南消防署和田分署へ救急自動車(トヨタアンビュランス 4WD 2B型) 1 台を更新配置
平成15年 4 月	職員定数214名に対し、実員216名 派遣：飯田市 1 名、大鹿村 1 名、長野県危機管理消防防災課消防防災航空隊 1 名、長野県消防学校 1 名 消防本部組織規則及び消防署組織規程の一部改正し、組織機構の見直し実施 警防課と指令課を統合し警防課、警防課に指令 3 係と情報管理専門主査を配置 伊賀良消防署、高森消防署の救急係を 2 係体制
平成15年 5 月	第 1 回飯伊地区メディカルコントロール分科会で飯伊包括医療協議会事務局、検証医10名(輪番病院医師)によるC P A に対しての事後検証会を毎月第 2 木曜日に実施することに決定
平成15年 6 月	龍江分署庁舎建築用地買収完了 地権者：1 名 買収面積(農地)：756㎡ 価格：12,593,448円
平成15年 7 月	消防本部警防課に査察広報車(トヨタプロボックス 4WD) 1 台を更新配置
平成15年 8 月	第 1 回事後検証会議を、8 月21日に、検証医 9 名、救急隊員27名及び事務局 4 名にてC P A14症例について検討を飯田医師会館で実施 龍江分署用地として、塩澤方子氏より宅地・雑種地92㎡の寄附

平成15年11月 阿南消防署平谷分署へ消防ポンプ自動車(三菱/ミタ CD- I 型) 1 台を更新配置

平成16年 1 月 飯田線鉄道災害救急救助安全連絡地域分科会設置会議を飯田消防本部にて開催

平成16年 2 月 阿南消防署平谷分署へ救急自動車(トヨタアンビュランス 4WD 2B型) 1 台を更新配置

平成16年 3 月 龍江分署新築用地平成15年度分造成工事(県道自営・飯田市自営工事一部)完了
山本分署へ救急自動車(トヨタアンビュランス 4WD 2B型) 1 台を更新配置
寄贈：全国農業協同組合連合会長野県本部

平成16年 4 月 職員定数214名に対して実員216名
派遣：飯田市 1 名、大鹿村 1 名、長野県消防学校 1 名

平成16年 8 月 伊賀良消防署龍江分署庁舎新築工事入札

平成16年 9 月 阿南消防署へ除細動器 1 台を新規配置

平成16年10月 阿南消防署和田分署へ消防ポンプ自動車(日野/ミタ CD- I 型) 1 台を更新配置

平成16年11月 広域連合長に飯田市長牧野光朗氏就任

平成16年12月 飯田信用金庫から消防車両整備に2,200万円の寄附金と査察広報車 1 台
(トヨタプリウス)の寄贈を受け、寄附金による車両整備は、17年度に行う。
査察広報車は、消防本部へ更新配置

平成17年 3 月 阿南部会の消防無線システム改修工事完了
伊賀良消防署龍江分署庁舎の落成式を挙行
面積：455.42㎡ 総工事費：138,615,000円

平成17年 4 月 職員定数214名に対し、実員216名
派遣：飯田市 1 名、大鹿村 1 名、長野県危機管理室 1 名

平成17年10月 上村、南信濃村が飯田市に編入合併し、構成市町村が 1 市 3 町12村となる。
佐久総合病院に常駐するドクターヘリが、飯田下伊那地域での運行を開始

平成18年 1 月 浪合村が阿智村に編入合併し、構成市町村が 1 市 3 町11村となる。
高森消防署座光寺分署へ消防ポンプ自動車(三菱/ミタ CD- I 型) 1 台を更新配置

平成18年 2 月 飯田消防署へ救助工作車Ⅱ型(日野/ 帝国繊維) 1 台を更新配置

平成18年 4 月 飯田部会、阿南部会を一体化し業務運用を開始
消防職員定数条例改正：定数217名 実員218名 派遣：飯田市 1 名、大鹿村 1 名
消防本部組織規則の一部を改正し、警防課指令係を 3 係 3 部体制
飯田地区危険物安全協会と下伊那危険物安全協会が合併して、南信州危険物安全協会が設立

平成18年 9 月 予防課へ査察広報車 1 台(スズキリオ4WD)配置 寄贈：(株)セイコーアドバンス

平成19年 1 月 消防本部指令台の阿南関係 119番受付改修工事が完了し運用開始
(飯田下伊那全域の 119番受付集約)
飯田消防署へ高規格救急自動車(トヨタハイメディック) 1 台を更新配置

平成19年 3 月 阿南消防署へ救助工作車(いすゞ/ミタ) 1 台を更新配置

平成19年 4 月 消防本部組織規則及び消防署組織規程の一部改正し、組織機構の見直し実施

平成20年 3 月 高森消防署へ高規格救急自動車(トヨタハイメディック) 1 台を更新配置
阿南消防署庁舎の増改築工事完了

平成20年12月 飯田消防署から伊賀良消防署へ15m級梯子付消防ポンプ自動車を配置換え

平成21年 3 月 平谷分署、和田分署の車庫に救急処置室の増設
清内路村と阿智村が合併したことにより、構成市町村が 1 市 3 町10村となる。
阿南消防署へ水難救助用ボート一式配置 寄贈：アルプスマリーナ
飯田消防署へ水難救助用ボート一式配置

平成21年 5 月 飯田消防署、伊賀良消防署へ指令車(日産バネット) 1 台を更新配置

平成21年 6 月	阿南消防署へ和田分署から阿南95号車を配置換えし指令車として配置 飯田消防署へ平谷分署から阿南85号車を配置換えし資機材搬送車として配置
平成21年10月	高森消防署、龍江分署へ消防ポンプ自動車(トヨタ/日本トヨタ/カマ 600Lタンク付 CD- I 型)各 1 台を更新配置 山本分署へ消防ポンプ自動車(トヨタ/モリタ CAFS装置付 CD- I 型) 1 台を更新配置
平成21年12月	飯田消防署へ救急普及啓発広報車(日産シビリアン)を新規配置 寄贈：財団法人救急振興財団
平成22年 1 月	阿南消防署へ配置泰阜村から積載車(トヨタ ダイナ)の譲渡を受ける。
平成22年 6 月	飯田消防署へ査察広報車(スズキアブリ4WD) 1 台を配置 寄贈：(株)セイコーアドバンス
平成23年 1 月	阿南消防署へ高規格救急車(日産 パラメディック) 1 台を更新配置 寄贈：社団法人日本損害保険協会
平成23年 3 月	伊賀良消防署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメディック) 1 台を更新配置 飯田消防署の空気充填庫のコンプレッサー(移動式)を更新
平成23年 8 月	羽場分署に高規格救急自動車(トヨタ ハイメディック) 1 台を更新配置 寄贈：全国共済農業協同組合連合会長野県本部
平成24年 8 月	国の補助金を活用し、消防救急デジタル無線施設及び指令施設工事着工 2箇年で整備を行う。
平成24年10月	飯田地区防火管理者協議会創立50周年記念式典を挙行、煙体験ハウス及びスモークマシンが寄贈される。
平成25年 3 月	消防救急デジタル無線共通波整備完了 車載無線60台、デジタル携帯無線54台を装備
平成25年12月	消防救急デジタル無線施設及び指令施設工事完了し、試験運用開始
平成26年 2 月	警防課へⅣ型支援車 (日産 キャバノン) 1 台を新規配置 総務省消防庁から緊急消防援助隊支援資機材・可搬型衛星地球局(V S A T)の貸与を受け、Ⅳ型支援車に車載し運用開始
平成26年 3 月	消防救急デジタル無線及び指令施設の正式運用開始
平成26年 5 月	N T P ヴィークルグループ株式会社から電気自動車「トヨタコムス」の寄贈を受ける。
平成26年 8 月	(株)セイコーアドバンスから査察広報車(スズキアブリ4WD) 1 台の寄贈を受ける。
平成27年 3 月	飯田消防署へ消防ポンプ自動車(日野/モリタ CAFS装置付CD- I 型) 1 台を更新配置 羽場分署へ消防ポンプ自動車(日野/モリタ CAFS装置付CD- I 型)各 1 台を更新配置
平成27年 9 月	飯田信用金庫から化学車(日野/モリタ CAFS装置付) 1 台の寄贈を受け、飯田消防署へ更新配置(9月18日運用開始)
平成28年 2 月	高森消防署座光寺分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメディック) 1 台を更新配置 阿南消防署平谷分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメディック) 1 台を更新配置
平成28年 3 月	救命サポート隊の試行運用 阿智村清内路地区における救命サポート隊試行運用を開始する。 清内路振興室職員 3 名を隊員登録する。 14市町村への無線波を使用した火災放送システムを有線(光回線)による放送システムに改修する。施工業者：サスナカ通信工業株式会社
平成28年 7 月	恵那山トンネル無線補助設備のデジタル化に伴い、有線遠隔方式からデジタル無線(活動波 4)遠隔方式に変更し運用を開始する。
平成29年 2 月	高森消防署へ指揮車(トヨタ レジアエース) 1 台を更新配置 伊賀良消防署山本分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメディック) 1 台を更新配置

平成29年 2 月	阿南消防署和田分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイデック) 1 台を更新配置
平成29年11月	長野県消防相互援助隊合同訓練 第 1 ステージ(受援訓練)飯田広域消防本部 3 階大会議室(参加者：50名) 第 2 ステージ(部隊運用訓練)飯田市川路多目的広場他を会場として実施参加団体等：長野県消防防災航空隊・長野県13消防(局)本部・飯田地区包括医療協議会他参加隊及び参加人員：飯田広域消防93名・県内12消防本部39隊135名・ヘリコプター 5 機・関係機関及び他飯田市住民等約3,000名
平成29年12月	飯田広域消防本部庁舎屋根及び壁改修工事完了。 施工業者：勝間田建設
平成30年 2 月	伊賀良消防署龍江分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイデック) 1 台を更新配置
平成30年 3 月	阿南消防署平谷分署へ査察広報車(トヨタ プロボックス) 1 台を配置
平成30年 9 月	(株)セイコーアドバンスから高規格救急車(トヨタ ハイデック) 1 台及び無人航空機(ドローン)(DJI ファントム4 pro+V2.0) 1 機の寄贈を受ける。 高規格救急車を飯田消防署へ更新配置(9月13日運用開始) 無人航空機(ドローン)を警防課へ配置(9月10日運用開始)
平成30年12月	総務課へ人員搬送車(トヨタ ハイエース) 1 台を更新配置
平成31年 3 月	伊賀良消防署へ査察広報車(トヨタ プロボックス) 1 台を更新配置 高森消防署へ高規格救急車(トヨタ ハイデック) 1 台を更新配置 警防課へ多機能搬送車(トヨタ ハイエースコロン) 1 台を更新配置
令和元年 5 月	警防課へ災害支援車(トヨタ ランドクルーザー) 1 台を新規配置(6月19日運用開始)
令和元年 6 月	(株)セイコーアドバンスから無人航空機(ドローン)(DJI マavic 2 エンタープライズグレード) 1 機の寄贈を受け、阿南消防署へ配置(7月23日運用開始)
令和元年 9 月	飯田消防署へ警防課の無人航空機(ドローン)(DJI ファントム4 pro+V2.0) 1 機を配置 警防課へ無人航空機(ドローン)(DJI マavic 2 エンタープライズグレード) 1 機を配置
令和 2 年 3 月	飯田保健所管内で初めて新型コロナウイルス感染者を確認(県内 5 例目) 飯田広域消防本部業務継続計画(新型コロナウイルス感染症対応)を策定し対応する。 阿南消防署へ消防ポンプ自動車(日野/ミタ CAFS装置付CD-I 型) 1 台を更新配置
令和 2 年 5 月	阿南消防署へ指揮車(日産 キャラバン) 1 台を更新配置
令和 2 年12月	飯田消防署へ査察広報車(トヨタ プロボックス) 1 台を更新配置
令和 3 年 5 月	伊賀良消防署の15mはしご付消防自動車の更新にあたり、13mブーム付多目的消防自動車(日野/ミタ) 1 台を配置(5月19日運用開始) (株)セイコーアドバンスから無人航空機(ドローン)(DJI マavic 2 エンタープライズグレード) 1 機の寄贈を受け、高森消防署へ配置(6月1日運用開始)
令和 3 年10月	阿南消防署へ高規格救急車(トヨタ ハイデック) 1 台を更新配置(11月1日運用開始)
令和 4 年11月	阿南消防署平谷分署へ消防ポンプ自動車(日野/ミタ CAFS装置付CD-I 型) 1 台を更新配置(12月15日運用開始)
令和 5 年 1 月	伊賀良消防署へ高規格救急車(トヨタ ハイデック) 1 台を更新配置(2月1日運用開始)
令和 5 年 3 月	高森町在住の福島壽子様から高規格救急車(トヨタ ハイデック) 1 台の寄贈を受け、高森消防署へ更新配置(3月27日運用開始)
令和 5 年 4 月	公務員の定年延長が施行。令和13年度にかけて段階的に65歳まで引き上げられる。
令和 5 年 6 月	阿南消防署へ査察広報車(スズキ エブリイ) 1 台を更新配置 阿南消防署和田分署へ査察広報車(スズキ エブリイ) 1 台を更新配置
令和 5 年 9 月	木曽広域連合と消防通信指令事務の共同運用に関する協定を締結
令和 5 年10月	消防本部組織規程の一部を改正し、通信指令課を新たに設け、本部 4 課体制。 通信指令課に指令 3 係と管理係を配置

令和5年12月	伊賀良消防署へ消防ポンプ自動車(日野/ミタ CAFS装置付CD-I型)1台を更新配置 (12月19日運用開始)
令和6年2月	映像通報システム運用開始
令和6年4月	南信州広域連合職員定数条例が改正され、職員定数が217人から226人となる(実員216人) 伊賀良消防署山本分署へ査察広報車(スズキ ハスラー)1台を更新配置(4月10日運用開始) 高森消防署座光寺分署へ査察広報車(スズキ ハスラー)1台を更新配置(4月10日運用開始)
令和6年7月	南信州広域連合及び木曽広域連合消防通信指令事務協議会を設立
令和6年10月	高森消防署座光寺分署へ高規格救急車(トヨタ ハイメディック)1台を更新配置 南信州危険物安全協会から創立70周年を記念し、公用車両(スズキ リオ)1台の寄贈を受け、消防本部予防課に配置 119番回線不通時における広報に関する協定を締結(㈱飯田ケーブルテレビ及び飯田エフエム放送㈱)
令和6年11月	長野県国民保護共同実働訓練(長野県では16年ぶり) 飯田市三日市場飯田運動公園を主会場として共同実働訓練を実施 参加団体:消防庁、陸上自衛隊、長野県、飯田市、長野県警察、飯田広域消防本部、県内12消防(局)本部(県消防相互応援隊)、日本赤十字社長野支部、長野県災害派遣医療チーム(DMAT)等、26団体、約650人が参加
令和7年1月	㈱セイコーアドバンスから創立75周年を記念し煙体験テントの寄贈を受け、伊賀良消防署へ配置
令和7年3月	阿南消防署へ小型救助車(ポリス レンジャー)1台を配置(総務省消防庁より無償配備) 試行山岳救助隊の設置から2年余を経て、構成人員17名で山岳救助隊の本運用開始(3月1日から)
令和7年7月	飯田消防署へ資機材搬送車(いすゞ エルフ)1台を更新配置(7月14日運用開始)
令和7年9月	一般財団法人 救急振興財団から救急訓練用ダミー人形2体及びAEDトレーナー1台等の寄贈を受ける。 総務課へ人員搬送車(トヨタ ノア)1台を更新配置
令和7年10月	飯田信用金庫から創立100周年を記念し寄附金を受け、高森消防署へ多機能型消防ポンプ自動車(日野/ミタ)1台を更新配置(10月9日運用開始) 高森消防署に兼任救助隊を配置(阿南消防署に次ぐ配置)
令和7年12月	国が進める女性消防吏員の活躍推進に伴い、県下では5回目となる「女性消防吏員研修会」が飯田広域消防本部を会場とし開催された。WEB併用で行われ県下女性消防吏員58名が参加(12月12日開催)
令和8年1月	林野火災注意報の新設及び火災警報改正の条例改正を行う。(同月から施行)
令和8年3月	衛星通信ネットワークを管理する自治体衛星通信機構の老朽化と利便性向上のため、長野県が主体となり長野県庁ほか112箇所において衛星系アンテナ及び衛星系情報受信端末を更新整備(3月16日竣工) 飯田消防署へ災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車(日野/ミタ MLLAH5-30WG 30m先端屈折式)1台を更新配置(3月19日運用開始)
令和8年4月	組織体制及び消防力の見直し(警防課企画広報係を警防係へ改編、警防課に地域防災支援係を創設、4村への職員駐在開始)に伴い、南信州広域連合職員定数条例が改正され、職員定数が226人から235人となる。(4月1日から施行 実員225人) 高森消防署移転新築工事が完了(1月20日竣工)し2月からの仮運用期間を経て運用を開始する。(4月1日運用開始) 飯田・木曽消防指令センターの整備及び指令システムの更新整備が完了し、2月からの仮運用期間を経て運用を開始する。(4月1日運用開始)

火災史

飯田下伊那地区は古くから大火が多く、記録に残る大火のみでも、慶長元年（1596）以来400余年間で、100回に達している。

過去の記録中、大火と称せられるもの又は特異な火災は、次のとおりである。

文政 6 年(1823) 12月23日	世にいう「床屋火事」は、箕瀬町の床屋から出火し、延焼13町、全焼1,127軒、空前の大火となった。
天保 2 年(1831) 1 月13日	箕瀬町の住宅から出火し、105軒が焼失する。
明治 6 年(1873) 7 月25日	大横町の住宅から出火し、95軒が焼失する。
明治 7 年(1874) 5 月31日	知久町の住宅から出火し、50軒が焼失する。
明治26年(1893) 8 月 6 日	追手町の住宅から出火し、125軒が焼失する。
明治27年(1894) 6 月10日	池田町の住宅から出火し、161軒が焼失する。
大正 7 年(1918) 5 月30日	下馬場町の遊郭から出火し、45軒が焼失する。
大正 8 年(1919) 10月15日	桜町 2 丁目大火、焼失50軒
大正11年(1922) 5 月 4 日	愛宕坂の住宅から出火し、折からの強風にあおられ愛宕町、常盤町、知久町 1 丁目、本町 1 丁目、追手町 2・3 丁目の約 5 万坪、358戸を焼失する。
昭和21年(1946) 7 月15日	元町の住宅から出火した火災は、4 m/分の西風にあおられ、湿度39%の乾燥に乘じ元町、栄町、日の出町、浅間町、清水町の15,000坪、193戸を焼失する。り災者：850名
昭和22年(1947) 4 月20日	午前11時48分頃、上常盤の住宅から出火し、出火時の気象は、南の風風速 5.5m/分、湿度33%であったが、火災が拡大するにつれて次第に強風(午後 2～3 時頃には11～13m/分)となった。 発生当時の火は、火元のすぐ北側に当たる八十二銀行飯田支店(鉄筋コンクリート造 3 階建)に北進を阻まれ、火勢は二手に別れ、火元から50 mに位置する銀座通り映画館(大松座)に延焼するころから大火の様相を示し、常盤町、追手町方面と銀座通り、知久町、本町、松尾町方面に延び、南より北に向かって高くなる地勢のため市内北部方面においては地上をはって北進するので、延焼に至らぬ間に煙のため東西方面に避難せざるを得ない実態となり、まったくの大火と化した。 り災区域：51町(り災を免れたもの47町) 焼失戸数：3,577戸(4,010世帯)、り災人員：17,778人 焼失面積：22万坪、延焼時間：約10時間
昭和34年(1959) 5 月29日	午後 2 時26分頃、上郷村別府の煙火工場で爆発事故が発生 死者：7 名 重傷者：7 名 軽傷者：83名 家屋の全壊：14戸 半壊：74戸 軽損：1,959戸 被災人員：9,276人
昭和45年(1970) 4 月13日	午後 6 時30分頃、飯田市上飯田大平地区の中心地にあった精密工場から出火する。全焼：7 棟 焼失面積：952m ² この火災をきっかけにして大平地区の集団移住が行われた。
昭和46年(1971) 5 月13日	午前 1 時40分頃、飯田市毛賀の工場から出火 工場 1 棟半焼 焼失面積：1,600m ²
昭和49年(1974) 10月17日	午前 1 時55分頃、飯田市高田町の飯田市立飯田東中学校から出火 全焼：5 棟(第 4 校舎木造 2 階建他) 半焼：1 棟(第 3 校舎木造 2 階建) 焼失面積：2,758m ²

昭和59年(1984) 5月12日	午前10時50分頃、豊丘村神稲の下烏帽子山から鬼面山にかけて延焼が3日間にわたる林野火災が発生し、13日の午後から14日には、自衛隊のヘリコプター2機による空中消火作業を行い5月14日午前10時40分の47時間ぶりに鎮火した。焼失面積：43ha
平成7年(1995) 8月8日	午後0時46分頃、阿南町和合鈴ヶ沢の官行造林地から出火して延焼、鈴ヶ沢地籍で2日間にわたる林野火災が発生し、9日の午前から自衛隊のヘリコプター5機による空中消火作業を行い午後4時05分に鎮火した。焼損面積：20ha
平成8年(1996) 2月29日	午前7時頃、飯田市追手町1丁目、通称「柳小路」の飲食店から出火、裏側銀座4丁目商店街へも延焼、全焼8棟など12棟が焼損して3時間後に鎮火した。焼損面積：1,427㎡り災者：26名
平成11年(1999)10月3日	午前7時15分頃、根羽村で危険物移送中の交通事故により発生した火災(移動タンク貯蔵所の爆発火災事故)は、タンクローリーがガソリン20キロリットルを積載して国道を走行中に横転炎上し、周囲の山林等に延焼、約2時間後に鎮火した。
平成12年(2000)	1月11日(金)～1月20日(日)までの10日間 飯田広域消防初の「焼死火災多発非常事態宣言」を発令し、警戒に努める。平成12年1月1日の焼死火災から短期間に焼死火災が続いたものに対応したもので、この年過去最悪の9名の焼死者が発生するという異常事態となった。
平成12年(2000)10月27日	午前2時頃、飯田市馬場町3丁目の住宅から出火し、急斜地に軒を連ねる建物に延焼、全焼5棟など8棟焼損し約2時間後に鎮火した。 焼損面積：854㎡り災者：7名 飯田市大火での延焼を免れた古い木造建物が立ち並び、狭隘な道路と空き家が多い延焼拡大危険地域で発生した特異な火災である。
平成18年(2006) 5月31日	午後5時44分頃、阿智村智里大野地籍で危険物移送中の交通事故により発生した火災(移動タンク貯蔵所の爆発火災事故)は、タンクローリーが軽油20キロリットルを積載して国道を走行中に横転、転落炎上し、周囲の山林等に延焼、約1時間後に鎮火した。死者：1名
平成29年(2017) 5月5日	午後4時26分、飯田市南信濃南和田地籍(通称：戸倉山東側尾根)から林野火災が発生、4日間にわたって燃え続け、5月9日午後1時30分に鎮火した。 この火災に対して、5都県の消防防災ヘリと陸上自衛隊ヘリを要請し、延べ194回、散水量589,100ℓにおよぶ空中消火を実施。また、地上部隊(消防署及び消防団)は「背負い式消火水のう」による消火活動を実施 焼損面積：238a
平成30年(2018) 4月2日	午前11時31分、飯田市千代で林野火災が発生、住宅裏から出火し建物及び林野(通称：野池山西側尾根)に延焼拡大、4月3日午後0時08分に鎮火した。 この火災に対して、3県の消防防災ヘリと陸上自衛隊ヘリを要請し、延べ105回、散水量118,000ℓにおよぶ空中消火を実施、また、地上部隊(消防署及び消防団)は「背負い式消火水のう」による消火活動を実施 焼損面積：455a
平成31年(2019) 4月6日	午前10時09分、喬木村氏乗で林野火災が発生、4月7日午前9時30分に鎮火した。 この火災に対して、岐阜県の消防防災ヘリと陸上自衛隊ヘリを要請し、延べ65回、散水量355,400ℓにおよぶ空中消火を実施、また、地上部隊(消防署及び消防団)は「背負い式消火水のう」による消火活動を実施 焼損面積：586a

飯田広域消防管内地勢



南信州地域は、飯田市と下伊那郡から成り、長野県の最南端に位置し、静岡県、愛知県、岐阜県と接し、西を中央アルプス、東を南アルプスに囲まれ、中央部を天竜川が北から南へ流れ河岸段丘が形成された、雄大な自然に恵まれた地域です。

交通網は、中央自動車道や JR 飯田線が南北に縦走、三遠南信自動車道の整備も進んでいます。今後はリニア中央新幹線の開通が予定され、人々や物の交流が活発になると予想されています。



署所等の所在地

名 称	所 在 地	電話番号	FAX 番号	郵便番号
消 防 本 部	飯田市東栄町3345番地	0265-23-0119	0265-22-0099	395-8533
飯 田 消 防 署	飯田市東栄町3345番地	0265-22-0119	0265-22-0119	395-8533
羽 場 分 署	飯田市羽場町1丁目12番地4	0265-52-0119	0265-52-0119	395-0063
伊賀良消防署	飯田市上殿岡721番地2	0265-25-0119	0265-25-0119	395-0153
山 本 分 署	飯田市山本5340番地1	0265-25-1195	0265-25-1195	395-0244
龍 江 分 署	飯田市龍江4531番地5	0265-27-4911	0265-27-4911	399-2221
高 森 消 防 署	下伊那郡高森町山吹4100番地	0265-35-0119	0265-35-0119	399-3101
座 光 寺 分 署	飯田市座光寺5153番地4	0265-53-0119	0265-53-0119	395-0001
阿 南 消 防 署	下伊那郡阿南町西條417番地15	0260-22-3344	0260-22-3344	399-1504
平 谷 分 署	下伊那郡平谷村433番地1	0265-48-2011	0265-48-2011	395-0601
和 田 分 署	飯田市南信濃八重河内121番地	0260-34-5588	0260-34-5588	399-1312
飯田・木曽 消防指令センター	飯田市上郷別府3338番地8	0265-49-5119	0265-49-5129	395-0003

飯田広域消防本部ホームページ URL <https://119.minami.nagano.jp>

飯田・木曽消防指令センターホームページ URL <https://iida-kiso-call-119.jp>

関係市町村別 面積・人口・世帯数

(令和8年4月1日現在)

区分 市町村	郵便番号	役所(場)所在地	電話番号	面積 (km ²)	人 口 (人)	世帯数 (戸)
			FAX 番号			
飯田市	395-8501	飯田市大久保町2534番地	0265-22-4511	658.66	93,092	40,464
			0265-24-4511			
松川町	399-3303	松川町元大島3823番地	0265-36-3111	72.79	12,215	4,859
			0265-36-5091			
高森町	399-3193	高森町下市田2183番地1	0265-35-3111	45.36	12,418	4,641
			0265-35-8294			
阿南町	399-1511	阿南町東條58番地1	0260-22-2141	123.07	3,844	1,891
			0260-22-2576			
阿智村	395-0303	阿智村駒場483番地	0265-43-2220	214.43	5,805	2,377
			0265-43-3940			
平谷村	395-0601	平谷村354番地	0265-48-2211	77.37	367	188
			0265-48-2212			
根羽村	395-0701	根羽村2131番地1	0265-49-2111	89.97	789	370
			0265-49-2277			
下條村	399-2101	下條村睦沢8801番地1	0260-27-2311	38.12	3,308	1,262
			0260-27-3536			
売木村	399-1689	売木村968番地1	0260-28-2311	43.43	449	252
			0260-28-2135			
天龍村	399-1201	天龍村平岡878番地	0260-32-2001	109.44	977	578
			0260-32-2525			
泰阜村	399-1895	泰阜村3236番地1	0260-26-2111	64.59	1,391	627
			0260-26-2553			
喬木村	395-1107	喬木村6664番地	0265-33-2001	66.61	5,736	2,143
			0265-33-3679			
豊丘村	399-3295	豊丘村大字神稲3120番地	0265-35-3311	76.79	6,414	2,261
			0265-35-9065			
大鹿村	399-3502	大鹿村大河原354番地	0265-39-2001	248.28	843	459
			0265-39-2269			
合 計				1,928.91	147,648	62,372

(備考) 1 「令和8年度消防現勢等調査」により作成

2 人口及び世帯数は、外国人登録者を含めた数値です。

消防庁舎等概要

消防本部 飯田消防署

位 置 飯田市東栄町3345番地
敷地面積 4,760.57㎡
建築延面積 3,110.86㎡
構 造 鉄筋コンクリート造3階建
竣工年月日 昭和61年9月20日



飯田消防署 羽場分署

位 置 飯田市羽場町1丁目12番地4
敷地面積 1,313.11㎡
建築延面積 383.58㎡
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 平成10年12月17日



伊賀良消防署

位 置 飯田市上殿岡721番地2
敷地面積 2,081.05㎡
建築延面積 640.44㎡
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 平成8年9月21日



伊賀良消防署 山本分署

位 置 飯田市山本5340番地1
敷地面積 1,260.12㎡
建築延面積 350.00㎡
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 平成8年9月21日



伊賀良消防署 龍江分署

位 置 飯田市龍江4531番地5
敷地面積 1,316.06㎡
建築延面積 455.42㎡
構 造 木造一部鉄骨2階建
竣工年月日 平成17年3月25日



高森消防署

位 置 下伊那郡高森町山吹4100番地
敷 地 面 積 4,634.51m²
建築延面積 1,259.00m²
構 造 鉄骨造2階建
竣工年月日 令和8年1月20日



高森消防署 座光寺分署

位 置 飯田市座光寺5153番地4
敷 地 面 積 1,133.74m²
建築延面積 298.87m²
構 造 木造モルタル平屋建
竣工年月日 平成2年1月26日



阿南消防署

位 置 下伊那郡阿南町西條417番地15
敷 地 面 積 2,001.00m²
建築延面積 603.23m²
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 昭和61年12月10日



阿南消防署 平谷分署

位 置 下伊那郡平谷村433番地1
敷 地 面 積 780.71m²
建築延面積 294.96m²
構 造 木造一部鉄骨平屋建
竣工年月日 昭和62年1月25日



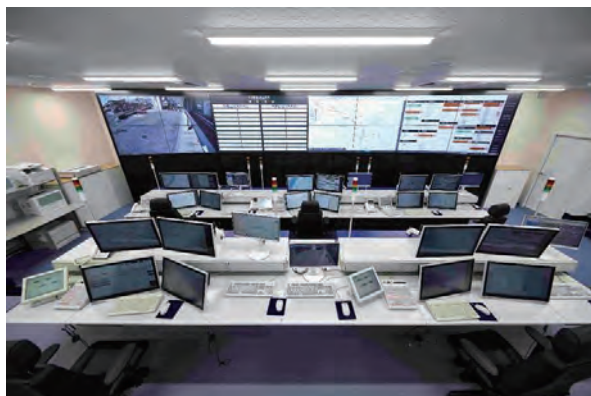
阿南消防署 和田分署

位 置 飯田市南信濃八重河内121番地
敷 地 面 積 857.47m²
建築延面積 291.72m²
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 昭和62年1月25日



飯田・木曽消防指令センター

位 置 飯田市上郷別府3338番地 8
はにかむべーすA棟 2 階
専 有 面 積 310㎡
(指令室・事務室・仮眠室等)
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建
改 修 完 了 令和 7 年10月31日



総務



令和 8 年 2 月 高森消防署新庁舎竣工式

南信州広域連合理事者等

(令和8年5月11日現在)

広域連合長

佐藤健	(飯田市長)
-----	--------

副広域連合長

下平喜隆	(豊丘村長)
------	--------

副管理者

高田修	(飯田市副市長)
-----	----------

関係町村長

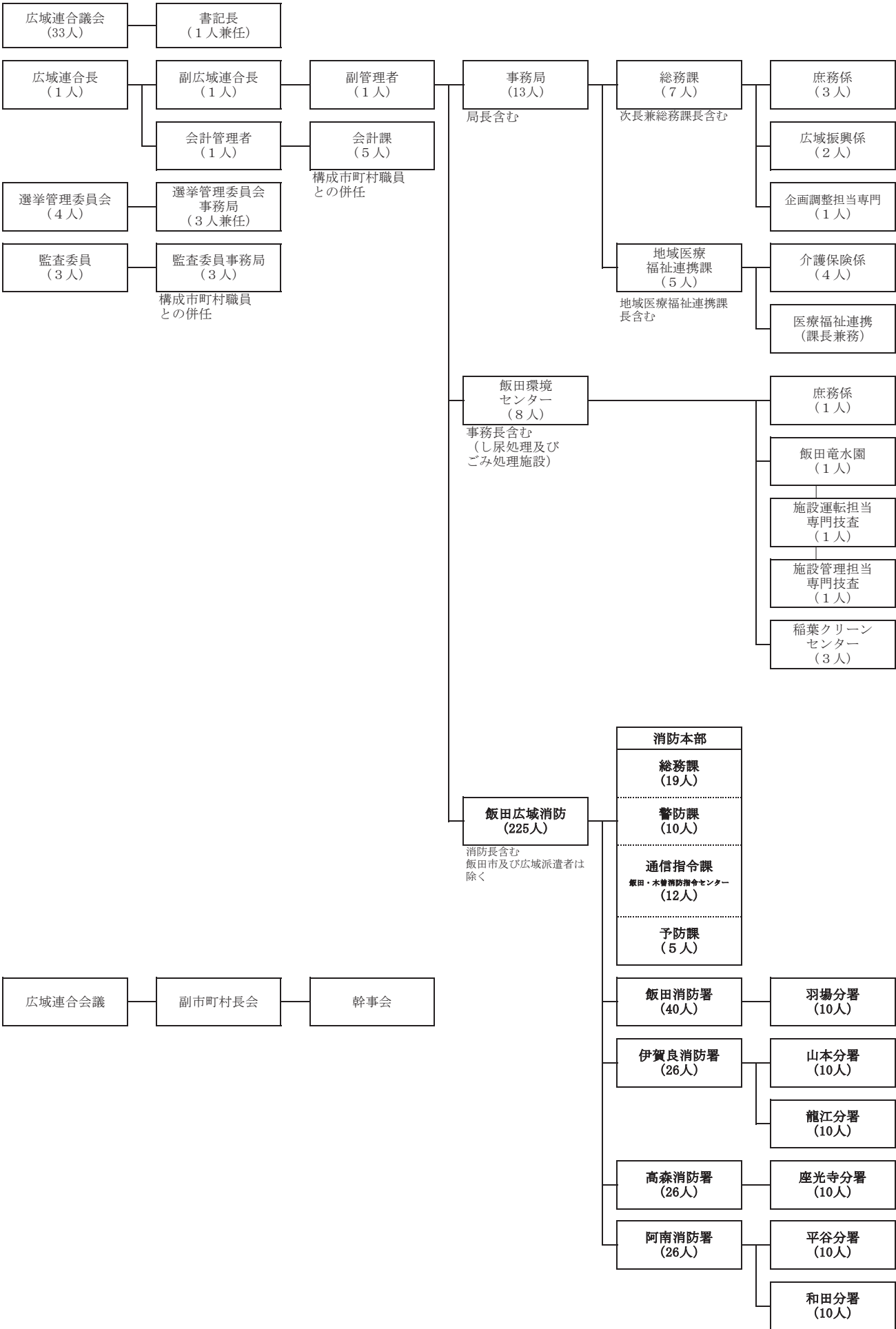
北沢秀公 (松川町長)	壬生照玄 (高森町長)	折山和士 (阿南町長)	熊谷秀樹 (阿智村長)
西川清海 (平谷村長)	大久保憲一 (根羽村長)	金田憲治 (下條村長)	清水秀樹 (売木村長)
永嶺誠一 (天龍村長)	横前明 (泰阜村長)	佐藤文彦 (喬木村長)	熊谷英俊 (大鹿村長)

歴代消防長

氏名	在任期間	氏名	在任期間
福沢福男	昭和23年3月7日 昭和26年3月31日	中平勝	平成12年4月1日 平成14年3月31日
山口又蔵	昭和26年4月4日 昭和44年3月31日	鈴木邦幸	平成14年4月1日 平成16年3月31日
松島章男	昭和44年10月20日 昭和48年7月14日	林田弘	平成16年4月1日 平成18年3月31日
村沢光男	昭和48年7月15日 昭和51年3月31日	長沼弘明	平成18年4月1日 平成19年3月31日
久保武敏	昭和51年4月1日 昭和52年2月11日	今牧英明	平成19年4月1日 平成22年3月31日
宮内省治	昭和52年2月12日 昭和52年3月31日	澤柳陽一	平成22年4月1日 平成24年3月31日
三石亮	昭和52年4月1日 昭和58年3月31日	山田耕三	平成24年4月1日 平成26年3月31日
相津実	昭和58年4月1日 昭和59年11月30日	桂稔	平成26年4月1日 平成28年3月31日
高木尚	昭和59年12月1日 昭和61年3月31日	関島弘文	平成28年4月1日 平成31年3月31日
栗林喜代司	昭和61年4月1日 平成1年3月31日	赤羽目金利	平成31年4月1日 令和3年3月31日
宮澤英夫	平成1年4月1日 平成4年3月31日	有賀達広	令和3年4月1日 令和5年3月31日
吉河省治	平成4年4月1日 平成6年3月31日	北澤俊彦	令和5年4月1日 令和7年3月31日
蜂谷伸	平成6年4月1日 平成9年3月31日	下平正樹	令和7年4月1日
牧島忠司	平成9年4月1日 平成12年3月31日		

南信州広域連合組織機構図

(令和8年4月1日現在)



飯田広域消防本部組織機構と職員配置

(令和8年4月1日現在) (人)

階 級		消防 正監	消防監	消 防 司令長	消防 司令	消 防 司令補	消防 士長	消 防 副士長	消防士	合 計
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	課 長 補 佐		1							1
	総務課				(2)					(2)
	庶務係				1		1			2
	職員係				1		1		12	14
	総務担当				1					1
	派遣職員						1			1
	課 長 補 佐		1							1
	警防課				(1)					(1)
	警防係					2				2
	救急担当				1					1
	広報・情報担当					1				1
	地域防災支援係				2	3				5
	課 長 補 佐			1						1
	通信指令課				(2)					(2)
	管理係					1	1			2
	指令第1係					2	1			3
	指令第2係				2		1			3
	指令第3係				2		1			3
	課 長 補 佐			1						1
	予防課				(1)					(1)
	予防係					1	1			2
	危険物係				1		1			2
	本 部 計	1	2	2	11	10	9		12	47
消 防 署	飯田消防署			1						1
	署 長 補 佐				(3)					(3)
	消防第1係				1	1	2		3	7
	消防第2係					2	1		3	6
	救急第1係					1	2			3
	救急第2係				1		2			3
	救助第1係					2	5			7
	救助第2係					1	5	1		7
	予防第1係				1		2			3
	予防第2係					1	2			3
	羽分場署					1	2	1	1	5
	羽分場署				1		2		2	5
	小 計			1	4	9	25	2	9	50
	伊賀良消防署			1						1
	署 長 補 佐				(3)					(3)
	消防第1係				1	3	1		2	7
	消防第2係					1	1	1	3	6
	救急第1係				1	1	1			3
	救急第2係				1		2			3
	予防第1係				1		2			3
	予防第2係					1	1		1	3
	山本第1係					2	1	1	1	5
	山本第2係				1	1	1		2	5
	龍江第1係				1	1	1	1	1	5
	龍江第2係					2	1	1	1	5
	小 計			1	6	12	12	4	11	46
	高森消防署			1						1
	署 長 補 佐				(3)					(3)
	消防第1係				2		2		3	7
	消防第2係				1		2	1	2	6
	救急第1係					1	2			3
	救急第2係					1	2			3
	予防第1係					1	2			3
	予防第2係					1	2			3
	座光寺第1係					2	1		2	5
	座光寺第2係					1	2		2	5
	小 計			1	3	7	15	1	9	36
	阿南消防署			1						1
	署 長 補 佐				(4)					(4)
	消防第1係				2		2	1	2	7
	消防第2係					1	3		2	6
	救急第1係					1	1	1		3
	救急第2係				1		2			3
	予防第1係					1	2			3
	予防第2係				1	1	1			3
	平分谷第1係					1	2		2	5
	平分谷第2係				1	1	1	1	1	5
	和田第1係				1	1	2		1	5
	和田第2係					1	2	1	1	5
	小 計			1	6	8	18	4	9	46
	署 合 計			4	19	36	70	11	38	178
	総 計	1	2	6	30	46	79	11	50	225

(備考) ()数字は、課長補佐又は署長補佐を再計する。

職員階級別年齢

(令和8年4月1日現在) (人)

階 級 年 齢	うち 女性	消防 正監	消防監	消 防 司令長	消防 司令	消 防 司令補	消防 士長	消 防 副士長	消防士	合計
20歳未満									7	7
20歳以上25歳未満	4								36	36
25歳以上30歳未満	1						16	9	6	31
30歳以上35歳未満							28	3		31
35歳以上40歳未満						2	28			30
40歳以上45歳未満	1					11	7			18
45歳以上50歳未満						14				14
50歳以上55歳未満				1	11	13				25
55歳以上		1	2	5	19	6				33
合 計	6	1	2	6	30	46	79	12	49	225
平均年齢	26.6	59.0	56.5	56.5	55.9	48.2	33.6	28.0	22.2	37.7

職員階級別勤続年数

(令和8年4月1日現在) (人)

階 級 勤続年数	うち 女性	消防 正監	消防監	消 防 司令長	消防 司令	消 防 司令補	消防 士長	消 防 副士長	消防士	合計
5 年未満	3						1		42	43
5 年以上10年未満	2						17	9	7	33
10年以上15年未満							30	3		33
15年以上20年未満	1					2	28			30
20年以上25年未満					1	12	3			16
25年以上30年未満					3	13				16
30年以上		1	2	6	26	19				54
合 計	6	1	2	6	30	46	79	12	49	225
平均勤続年数	7	40	36	37	36	28	13	8	2	18

消防予算

(1) 消防予算の推移(当初予算)

(単位:千円)

年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
目						
一般管理費		2,098,194	1,848,246	1,917,594	1,894,998	1,972,447
常備消防費		71,922	63,890	79,544	75,262	72,428
消防施設費		103,021	46,742	112,225	1,022,715	287,153
消防事務連携・協力事業費				20,328	1,252,628	80,379
公 債 費		114,163	92,822	12,809	17,397	67,193
予 備 費		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
合 計		2,391,300	2,055,700	2,146,500	4,267,000	2,483,600
消防予算に 対する割合	一人 当 た り	15,424円	13,388円	14,163円	28,324円	16,821円
	1 世帯当たり	38,705円	33,099円	34,519円	68,438円	39,819円

(2) 令和 8 年度広域連合関係市町村消防費の内訳

(単位:千円)

市町村	消 防 費				一般会計 総 予 算	総予算に 対 する割合(%)
	内 訳	常備消防費	非常備消防費	その他	計	
飯 田 市		927,977	195,230	267,560	1,390,767	55,640,000
松 川 町		173,406	128,152		301,558	9,540,000
高 森 町		171,174	45,535	20,373	237,082	8,060,000
阿 南 町		101,035	106,950	25,769	233,754	4,420,000
阿 智 村		129,336	58,806	24,830	212,972	8,400,000
平 谷 村		14,675	8,142	4,566	27,383	1,390,000
根 羽 村		25,971	13,141	23,552	62,664	2,628,000
下 條 村		78,830	31,084	109	110,023	3,700,000
売 木 村		16,099	17,385		33,484	1,365,000
天 龍 村		34,317	8,464	132,016	174,797	2,621,000
泰 阜 村		39,536	17,471	21,004	78,011	2,600,000
喬 木 村		107,032	32,357	100,909	240,298	4,700,000
豊 丘 村		112,228	76,539	127,883	316,650	5,580,000
大 鹿 村		39,048	19,413	15,536	73,997	2,260,000
合 計		1,970,664	758,669	764,107	3,493,440	112,904,000

(備考) 「令和 8 年度消防現勢等調査」により作成

予 防



第47回消防写生大会入賞作品



消防長賞



南信州危険物安全協会長賞



飯田地区幼少年婦人防火委員会長賞



飯田地区防火管理者協議会長賞



金賞



金賞



令和7年度 防火川柳最優秀作品

落ち葉焚き おいも焼いても 家焼くな

防火対象物の現況

市町村別対象物数			飯田市	松川町	高森町	阿南町	阿智村	平谷村
用途区分								
1	イ	劇場・映画館等	4		2			
	ロ	公会堂・集会場	196	32	42	7	14	1
2	イ	キャバレー等	2					
	ロ	遊技場／ダンスホール	19		3			
	ハ	風俗営業等						
	ニ	カラオケボックス等	3					
3	イ	待合・料理店	13	1	1			
	ロ	飲食店	180	16	20	2	21	2
4		百貨店・マーケット	251	26	24	8	12	
5	イ	旅館・ホテル	80	6	15	5	38	2
	ロ	共同住宅・下宿等	875	42	58	18	24	3
6	イ	病院・診療所等	89	2	8	3	2	
	ロ	老人福祉施設等	40	10	7	8	6	
	ハ	デイサービス等	138	31	14	12	13	2
	ニ	幼稚園・盲学校等	4					
7		小・中・高等学校等	41	4	9	7	7	1
8		図書館等	15		1	3	3	1
9	イ	蒸気・熱気浴場						
	ロ	イ以外の公衆浴場	4				1	
10		車両の停車場	3					
11		神社・寺院等	86	14	15	4	6	
12	イ	工場・作業場	732	124	137	26	42	2
	ロ	映画スタジオ等						
13	イ	自動車庫・駐車場	21	1	1		1	1
	ロ	飛行機格納庫						
14		倉庫	277	36	37	6	8	1
15		前各号に該当しない事業所	648	51	54	34	40	15
16	イ	複合用途防火対象物	685	69	43	16	40	10
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	470	45	32	6	11	2
17		重要文化財等	18		2	1	2	
18		延長50m以上のアーケード						
合 計			4,894	510	525	166	291	43

(令和8年3月31日現在) (棟)

根羽村	下條村	売木村	天龍村	泰阜村	喬木村	豊丘村	大鹿村	合 計
	1					1		8
1	7	1	8	1	24	21	5	360
								2
								22
								3
								15
3	1	1		1	1	3	3	254
1	4	1			8	8	1	344
7	7	7	5	3	2	2	15	194
8	12	6	4	9	18	10	6	1,093
	1	1			1	1		108
1	3	1	3	1	3	2		85
1	2	2	2	5	14	10	2	248
					1			5
2	2	1	3	2	4	3	2	88
1	1				2	1	2	30
			2					7
								3
1	2	1	1	3	6	3	1	143
5	17	7	8	8	38	53	4	1,203
1						1		27
4	2	1			8	18	1	399
14	15	4	14	9	30	31	11	970
7	12	11	7	7	16	14	8	945
3	1	3	1	4	12	8	4	602
1	1			6				31
61	91	48	58	59	188	190	65	7,189

中高層建物の状況

(令和8年3月31日現在) (棟)

階数		3～4階				5～6階				7～8階				9～10階				11～12階				13～14階				合 計			
用途区分	署別	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署
1	イ	2	1	1	1																					2	1	1	1
	ロ	6	4	1	1																					6	4	1	1
2	イ																												
	ロ	1																								1			
	ハニ																												
3	イ	1																								1			
	ロ	21		2																						21		2	
4		16	1	2		1																				17	1	2	
5	イ	5	10	5	7	5	9			1	2			1												12	21	5	7
	ロ	185	76	48	27	12	9	1		3										1						201	85	49	27
6	イ	4	5	2	2	5	1		1	1																10	6	2	3
	ロ	2	3	3	1																					2	3	3	1
	ハ	6		3																						6		3	
	ニ	1																								1			
7		25	28	17	17																					25	28	17	17
8		2			1																					2			1
9	イ																												
	ロ																												
10																													
11		1				2																				3			
12	イ	30	34	18	4	2																				32	34	18	4
	ロ																												
13	イ	4																								4			
	ロ																												
14		11	8	4	1																					11	8	4	1
15		89	23	13	13	10	1		1																	99	24	13	14
16	イ	167	31	31	10	19	1			1			3													190	32	31	10
	ロ	123	38	19	5	6	2			1																130	40	19	5
17		1																								1			
18																													
合計		703	262	169	90	62	23	1	2	7	2			4						1						777	287	170	92

防火対象物の予防査察実施状況

(令和7年度) (回)

用途区分		署別回数	飯田消防署 防火対象物	伊賀良消防署 防火対象物	高森消防署 防火対象物	阿南消防署 防火対象物	合 計
1	イ	劇場・映画館等				1	1
	ロ	公会堂・集会場	2	6	7	4	19
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場／ダンスホール	2		2		4
	ハ	風俗営業等					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	待合・料理店			2		2
	ロ	飲食店	7	7	4	6	24
4		百貨店・マーケット	7	10	9	2	28
5	イ	旅館・ホテル	4	8	3	42	57
	ロ	共同住宅・下宿等		3	2	1	6
6	イ	病院・診療所等	2	1	1		4
	ロ	老人福祉施設等		1	2		3
	ハ	デイサービス等	3	3	1	2	9
	ニ	幼稚園・盲学校等	1				1
7		小・中・高等学校等				1	1
8		図書館等	3			2	5
9	イ	蒸気・熱気浴場					
	ロ	イ以外の公衆浴場					
10		車両の停車場					
11		神社・寺院等	1	1	2	6	10
12	イ	工場・作業場	1		1		2
	ロ	映画スタジオ等					
13	イ	自動車車庫・駐車場	1				1
	ロ	飛行機格納庫					
14		倉庫	1				1
15		前各号に該当しない事業所	6	8	2	13	29
16	イ	複合用途防火対象物	34	15	12	11	72
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	1	6	1	3	11
17		重要文化財等	3	3	7	1	14
18		延長50m以上のアーケード					
合 計			79	72	58	95	304

防火対象物の防火管理状況

(令和8年3月31日現在) (棟)

用途区分			防火管理者 選任対象物数		防火管理者 選任届出数		消防計画 届出数
			甲種	乙種	甲種	乙種	甲種
1	イ	劇場・映画館等	8		7		6
	ロ	公会堂・集会場	159	180	153	149	297
2	イ	キャバレー等		2		1	1
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	1	13	1	13
	ハ	風俗営業等					
	ニ	カラオケボックス等	1		1		1
3	イ	待合・料理店	7		7		7
	ロ	飲食店	50	125	43	78	110
4		百貨店・マーケット	149	75	131	47	173
5	イ	旅館・ホテル	82	8	76	5	79
	ロ	共同住宅・下宿等	58	6	39	2	37
6	イ	病院・診療所等	21	3	19	2	21
	ロ	老人福祉施設等	74	1	55		54
	ハ	デイサービス等	108	9	88	6	95
	ニ	幼稚園・盲学校等	4		4		4
7		小・中・高等学校等	74	1	72	1	71
8		図書館等	15	12	12	9	19
9	イ	蒸気・熱気浴場					
	ロ	イ以外の公衆浴場	4		4		4
10		車両の停車場					
11		神社・寺院等	53	37	45	33	75
12	イ	工場・作業場	115	4	89	3	86
	ロ	映画スタジオ等					
13	イ	自動車車庫・駐車場		1			
	ロ	飛行機格納庫					
14		倉庫	6	1	5	1	6
15		前各号に該当しない事業所	148	47	120	37	151
16	イ	複合用途防火対象物	297	103	215	67	268
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	40	11	22	8	30
17		重要文化財等	7		7		7
18		延長50m以上のアーケード					
合 計			1,494	627	1,227	450	1,615

防火管理者資格取得講習会実施状況

(1) 甲種防火管理者講習受講者数

(人)

講習年度	受講者数	講習年度	受講者数	講習年度	受講者数
昭和36年度	297	昭和60年度	165	平成18年度	164
昭和37年度	96	昭和61年度	162	平成19年度	153
昭和38年度	74	昭和62年度	202	平成20年度	206
昭和39年度	66	昭和63年度	181	平成21年度	203
昭和40年度	90	平成元年度	104	平成22年度	198
昭和41年度	71	平成 2 年度	176	平成23年度	172
昭和42年度	101	平成 3 年度	150	平成24年度	163
昭和43年度	52	平成 4 年度	131	平成25年度	198
昭和47年度	124	平成 5 年度	150	平成26年度	187
昭和48年度	158	平成 6 年度	132	平成27年度	184
昭和49年度	168	平成 7 年度	105	平成28年度	169
昭和50年度	152	平成 8 年度	178	平成29年度	147
昭和51年度	119	平成 9 年度	148	平成30年度	174
昭和52年度	141	平成10年度	134	令和元年度	141
昭和53年度	146	平成11年度	150	令和 2 年度	134
昭和54年度	285	平成12年度	154	令和 3 年度	173
昭和55年度	239	平成13年度	131	令和 4 年度	163
昭和56年度	102	平成14年度	188	令和 5 年度	158
昭和57年度	166	平成15年度	161	令和 6 年度	150
昭和58年度	136	平成16年度	165	令和 7 年度	184
昭和59年度	139	平成17年度	179		
甲種受講者合計			9,589		

(2) 乙種防火管理者講習受講者数

(人)

講習年度	受講者数	講習年度	受講者数	講習年度	受講者数
昭和62年度	60	平成15年度	29	平成29年度	17
昭和63年度	85	平成17年度	25	平成30年度	16
平成元年度	57	平成19年度	33	令和元年度	11
平成 2 年度	44	平成21年度	44	令和 2 年度	12
平成 3 年度	38	平成22年度	13	令和 3 年度	13
平成 4 年度	40	平成23年度	14	令和 4 年度	21
平成 5 年度	37	平成24年度	20	令和 5 年度	16
平成 7 年度	36	平成25年度	24	令和 6 年度	15
平成 9 年度	23	平成26年度	11	令和 7 年度	28
平成11年度	36	平成27年度	11		
平成13年度	45	平成28年度	10		
乙種受講者合計			884		

消防同意事務件数

(令和7年度) (件)

用途区分			同意内容	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替 え	用 途 変 更	そ の 他	合 計
1	イ	劇場・映画館等										
	ロ	公会堂・集会場		2	2							4
2	イ	キャバレー等										
	ロ	遊技場・ダンスホール										
	ハ	風俗営業等										
	ニ	カラオケボックス等										
3	イ	待合・料理店										
	ロ	飲食店		3								3
4		百貨店・マーケット		7	4							11
5	イ	旅館・ホテル		4						1		5
	ロ	共同住宅・下宿等		12								12
6	イ	病院・診療所等		2	1							3
	ロ	老人福祉施設等		1	2							3
	ハ	デイサービス等		1						1		2
	ニ	幼稚園・盲学校等										
7		小・中・高等学校等		1	2							3
8		図書館等										
9	イ	蒸気・熱気浴場										
	ロ	イ以外の公衆浴場										
10		車両の停車場										
11		神社・寺院等										
12	イ	工場・作業場		4	19							23
	ロ	映画スタジオ等										
13	イ	自動車車庫・駐車場										
	ロ	飛行機格納庫										
14		倉庫		19	4							23
15		前各号に該当しない事業所		17	5				1			23
16	イ	複合用途防火対象物		2								2
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物										
17		重要文化財等										
18		延長50m以上のアーケード										
一般		専用住宅		31	10							41
		併用住宅										
		その他		10	3							13
合 計				116	52				1	2		171

危険物施設の状況

(令和8年3月31日現在)

危険物施設 区別			計	製 造 所	小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	特 定 屋 外	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	14kl 超 トレ ー ラ ー	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	自 家 用	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	事 業 所 数
検査済証交付施設数			712	3	493	94	43		11	193	4	141	9	7	216	133	58	6		77	407
数量別	5倍以下		339		284	51	11		8	84	4	122		4	55	11	11	2		42	
	5倍を超え 10倍以下		139	1	107	24	7		3	70				3	31	10	10	2		19	
	10倍を超え 50倍以下		120	2	66	16	15			31		4			52	36	33	2		14	
	50倍を超え 100倍以下		40		22	1	5			5		11	6		18	17	3			1	
	100倍を超え 150倍以下		26		8	2	1			1		4	3		18	18	1				
	150倍を超え 200倍以下		19		2		1			1					17	16				1	
	200倍を超え 1000倍以下		28		3		2			1					25	25					
	1000倍を超えるもの		1		1		1														
類別	単 独	第1類	1		1	1															
		第2類	1		1	1															
		第3類																			
		第4類	708	3	489	90	43		11	193	4	141	9	7	216	133	58	6		77	
		第5類																			
		第6類																			
	混在		2		2	2															
飯田 市		352	1	236	55	21			4	83	2	68	7	3	115	64	23	6		45	
松川 町		80	2	50	10	10			1	14		15			28	14	9			14	
高森 町		56		41	11					19		9	2	2	15	12	7			3	
阿南 町		28		20	2				1	9		8			8	6	2			2	
阿智 村		62		47	5	1				33	2	6			15	9	2			6	
平谷 村		12		9		1				5		2		1	3	2	1			1	
根羽 村		6		4		1			1			2			2	2	1				
下條 村		18		13	2	1			1	6		3			5	4	2			1	
売木 村		8		5						4		1			3	3	2				
天龍 村		10		9					1	5		2		1	1	1					
泰阜 村		15		11	2	1			1	5		2			4	4	3				
喬木 村		37		31	2	6				4		19			6	4	1			2	
豊丘 村		16		10	4	1				4		1			6	3	2			3	
大鹿 村		12		7	1				1	2		3			5	5	3				
計			712	3	493	94	43		11	193	4	141	9	7	216	133	58	6		77	

危険物施設立入実施件数

(令和7年度)

危険物施設	署別	予防課	飯田 消防署	伊賀良 消防署	高森 消防署	阿南 消防署	合計
製造所							
屋内貯蔵所							
屋外貯蔵所							
屋外タンク貯蔵所							
屋内タンク貯蔵所							
地下タンク貯蔵所		5	6	9	5	13	38
簡易タンク貯蔵所							
移動タンク貯蔵所							
給油取扱所		43	1				44
第1種販売取扱所							
第2種販売取扱所							
一般取扱所				1		1	2
合計		48	7	10	5	14	84

各種申請届出書受理件数

(令和7年度)

区 分		受理 件数	区 分	受理 件数
危険物製造所等 設置変更許可申請	製造所		防火対象物使用開始届	175
	貯蔵所	20	火を使用する設備等の設置届	27
	取扱所	32	発電・変電・蓄電設備設置届	60
危険物製造所等 完成審査申請	製造所		ネオン管灯設備設置届	
	貯蔵所	20	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届	90
	取扱所	31	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	57
危険物製造所等 譲渡引渡届出	製造所		防火管理者選・解任届	364
	貯蔵所	17	消防計画届	444
	取扱所	15	消防設備設置届	368
危険物製造所等 廃止届出	製造所		消防用設備点検結果報告	3,389
	貯蔵所	17	防火対象物点検結果報告	140
	取扱所	1	防火対象物権原者変更届	14
水張水圧検査申請書		14	防火対象物特例認定申請等	28
危険物製造所等休止(再開)届		2	高压ガス販売施設等の意見書交付申請	
危険物仮貯蔵・仮使用・仮取扱承認願		41	消防法令適合通知書交付申請	20
危険物保安監督者選解任届		32	り災証明申請	60
危険物製造所等品名数量変更届		5		
予防規程認可 変更申請書		1		

警 防



飯田 3 号車（はしご付き消防ポンプ自動車）



高森 5 1 号車（多機能型消防ポンプ自動車）



飯田 6 号車（資機材搬送車）

消防機械等の現況

(1) 署所別配置状況

(令和8年4月1日現在)

署所 機械等		消防本部	飯田消防署	羽場分署	伊賀良消防署	山本分署	龍江分署	高森消防署	座光寺分署	阿南消防署	平谷分署	和田分署	合計
ポンプ車			2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	12
小型ポンプ付積載車										1			1
はしご車			1										1
化学車			1										1
救助工作車			1							1			2
水槽車								1					1
救急車			2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	13
人員輸送車		1											1
資機材搬送車			2		1			1		1			5
指揮車			1		1			1		1			4
支援車		1								2			3
査察広報車		3	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	15
その他の車両	連絡車等	4											4
	二輪車	1											1
車両合計		10	12	3	6	3	3	8	3	10	3	3	64
無人航空機(ドローン)		1	1					1		1			4
ホース	40mm							1		15	10	8	34
	50mm		69	42	66	49	31	76	46	85	54	60	578
	65mm		71	14	65	13	30	30	12	28	37	10	310
化学消火薬剤(ℓ)			1,300	100	120	100	80	120	180	280	200	120	2,600
発泡管鎗			11	1	2	1	1	1	1	2	2	2	24
消火原液吸入装置			2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	12
可搬式放水砲			2										2
背負い式消火水のう			29	8	20	8	7	20	7	20	8	8	135
空気呼吸器			36	4	11	4	4	10	4	11	4	4	92
空気ボンベ	4.7ℓ		8										8
	6.8ℓ		50	9	21	10	8	15	12	20	9	9	163
	8ℓ		45	1	6	3	1	8	2	9	4	4	83
	9ℓ												
	50ℓ		6										6
ゴムボート(船外機付)			1							2			3
エアーテント			2		1			1		1			5

(2) 機械性能等(車両関係)

消防ポンプ自動車等(水槽付含む)

(令和8年4月1日現在)

所 属	番 号	種 別	登録番号	車 名	年 式	総排気量(L)	ポンプ規格	艀装メーカー	登録年月	緊援隊登録
飯 田	1号	ポンプ車	802に 1	日 野	2015	4.00	A-2	モリタ	H27. 2	○
飯 田	7号	ポンプ車	831て 119	三 菱	2005	4.89	A-2	モリタ	H17. 8	
羽 場	11号	ポンプ車	830て 11	日 野	2015	4.00	A-2	モリタ	H27. 2	
伊賀良	21号	ポンプ車	830ね 21	日 野	2023	4.00	A-2	モリタ	R 5.10	○
伊賀良	23号	ポンプ車	830た 23	日 野	2021	5.12	A-2	モリタ	R 3. 3	○
山 本	31号	ポンプ車	830せ 31	トヨタ	2009	4.00	A-2	モリタ	H21.10	
龍 江	41号	ポンプ車	830さ 41	トヨタ	2009	4.00	A-2	NDC	H21.10	
高 森	51号	ポンプ車	810さ 100	日 野	2025	4.00	A-2	モリタ	R 7. 7	
高 森	53号	水槽車(5t)	800は 176	三 菱	2001	8.20	B-2	モリタ	H13.11	
座光寺	61号	ポンプ車	830さ 51	トヨタ	2009	4.00	A-2	NDC	H21.10	
阿 南	71号	ポンプ車	830そ 71	日 野	2020	4.00	A-2	モリタ	R 2. 3	○
平 谷	81号	ポンプ車	830そ 81	日 野	2022	4.00	A-2	モリタ	R 4.11	○
和 田	91号	ポンプ車	831た 119	日 野	2004	4.00	A-2	モリタ	H16.10	

はしご自動車

所 属	番 号	種 別	登録番号	車 名	年 式	総排気量(L)	ポンプ規格	艀装メーカー	登録年月	緊援隊登録
飯 田	3号	はしご車(30m)	810さ 3	日 野	2026	8.86	—	モリタ	R 8. 2	○

化学消防車

所 属	番 号	種 別	登録番号	車 名	年 式	総排気量(L)	ポンプ規格	艀装メーカー	登録年月	緊援隊登録
飯 田	2号	化学車	800の 2	日 野	2015	6.40	A-2	モリタ	H27. 8	○

救助工作車

所 属	番 号	種 別	登録番号	車 名	年 式	総排気量(L)	ポンプ規格	艀装メーカー	登録年月	緊援隊登録
飯 田	5号	救助工作車	831ぬ 119	日 野	2006	6.40	—	テイセン	H18. 1	○
阿 南	75号	救助工作車	831め 119	いすゞ	2007	7.16	—	モリタ	H19. 3	

救急自動車

所 属	番 号	種 別	登録番号	車 名	年 式	総排気量(L)	ポンプ規格	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
飯 田	1号	救急自動車	832つ 119	トヨタ	2018	2.69	高規格	7	H30. 7	
飯 田	2号	救急自動車	830せ2011	トヨタ	2011	2.69	高規格	7	H23. 7	
羽 場	11号	救急自動車	830す3103	トヨタ	2019	2.69	高規格	7	H31. 3	
伊賀良	2号	救急自動車	800も 2	トヨタ	2022	2.69	高規格	7	R 5. 1	○
伊賀良	21号	救急自動車	830す2011	トヨタ	2011	2.69	高規格	7	H23. 2	
山 本	3号	救急自動車	830さ2902	トヨタ	2017	2.69	高規格	7	H29. 2	
龍 江	4号	救急自動車	830す2018	トヨタ	2018	2.69	高規格	7	H30. 2	
高 森	5号	救急自動車	830さ1045	トヨタ	2022	2.69	高規格	7	R 5. 3	
高 森	51号	救急自動車	830す2801	トヨタ	2016	2.69	高規格	7	H28. 1	
座光寺	6号	救急自動車	830さ2410	トヨタ	2024	2.69	高規格	7	R 6.10	○
阿 南	7号	救急自動車	830な 77	トヨタ	2021	2.69	高規格	7	R 3.10	○
平 谷	8号	救急自動車	830さ2801	トヨタ	2016	2.69	高規格	7	H28. 1	
和 田	9号	救急自動車	830す2902	トヨタ	2017	2.69	高規格	7	H29. 2	

指揮車

所 属	番号	種 別	登録番号	車 名	年式	総排気量(L)	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
飯 田	指揮1号	指揮車 ※支援車を兼ねる	800す2124	日 産	2013	2.48	8	H25.10	○
伊賀良	指揮2号	指揮車	800す 143	日 産	2009	1.99	6	H21. 9	
高 森	指揮5号	指揮車	830せ2902	トヨタ	2017	2.69	6	H29. 2	
阿 南	指揮7号	指揮車	800す5020	日 産	2020	2.48	6	R 2. 5	

査察広報車

所 属	番号	種 別	登録番号	車 名	年式	総排気量(L)	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
飯 田	107号	査察広報車	830す 107	トヨタ	2020	1.49	5	R 2.12	
飯 田	109号	査察広報車	880あ 583	スズキ	2010	0.65	4	H22. 6	
羽 場	111号	査察広報車	880あ1047	スズキ	2014	0.65	4	H26. 9	
伊賀良	121号	査察広報車	800す4510	トヨタ	2019	1.49	5	H31. 3	
山 本	131号	査察広報車	883あ 131	スズキ	2024	0.65	4	R 6. 3	
龍 江	141号	査察広報車	800さ5537	トヨタ	2003	1.49	5	H15. 7	
高 森	151号	査察広報車	800さ1458	日 産	2000	1.76	5	H12. 5	
高 森	152号	査察広報車	88す 3153	トヨタ	1996	4.16	5	H 8.11	
座光寺	161号	査察広報車	883あ 161	スズキ	2024	0.65	4	R 6. 3	
阿 南	171号	査察広報車	883あ 171	スズキ	2023	0.65	4	R 5. 5	
平 谷	86号	査察広報車	800す4080	トヨタ	2018	1.49	5	H30. 3	
和 田	96号	査察広報車	883あ 96	スズキ	2023	0.65	4	R 5. 5	
予 防	101号	査察広報車	800さ2454	日 産	2001	1.76	5	H13. 1	
予 防	103号	査察広報車	800さ8411	スズキ	2006	1.32	5	H18. 9	
警 防	104号	査察広報車	800さ6878	トヨタ	2004	1.49	5	H16.12	

その他の車両

所 属	番号	種 別	登録番号	車 名	年式	総排気量(L) 又は定格出力	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
飯 田	6号	資機材搬送車	810さ2506	いすゞ	2025	2.99	3	R 7. 6	○
飯 田	106号	資機材搬送車	88す 3152	トヨタ	1996	4.16	5	H 8.11	
伊賀良		積載車	88さ 9771	日 産	1993	2.66	6	H 5. 3	
阿 南	77号	資機材搬送車	800さ2565	トヨタ	2001	2.98	3	H13. 2	
高 森	52号	資機材搬送車	88す 4084	いすゞ	1997	4.57	3	H 9. 9	
阿 南	72号	積載車	88す 4388	トヨタ	1997	2.77	6	H 9.12	
警 防	支援2号	支援車	830せ3103	トヨタ	2019	2.69	10	H31. 3	○
阿 南	支援3号	支援車	830さ1905	トヨタ	2019	2.69	5	R 1. 5	
阿 南	飯田機動 1号	支援車	930さ2502		2025	0.99	2	R 7. 2	○
警 防	102号	人員輸送車	800さ4454	トヨタ	2002	2.98	10	H14. 8	
総 務	100号	連絡車	300さ 481	トヨタ	2025	1.79	7	R 7. 8	
総 務	105号	連絡車	301す5148	トヨタ	2018	2.69	10	H30.12	
総 務	コムス	連絡車	飯田市 36	トヨタ	2014	0.59(kw)	1	H26. 6	
総 務	原付	連絡車	飯田市 55	ホンダ	2008	0.049	1	H20. 3	
予 防	安協号	連絡車	533な 70	スズキ	2024	1.24	5	R 6.10	

特殊災害等対応資機材配置状況

(令和8年4月1日現在)

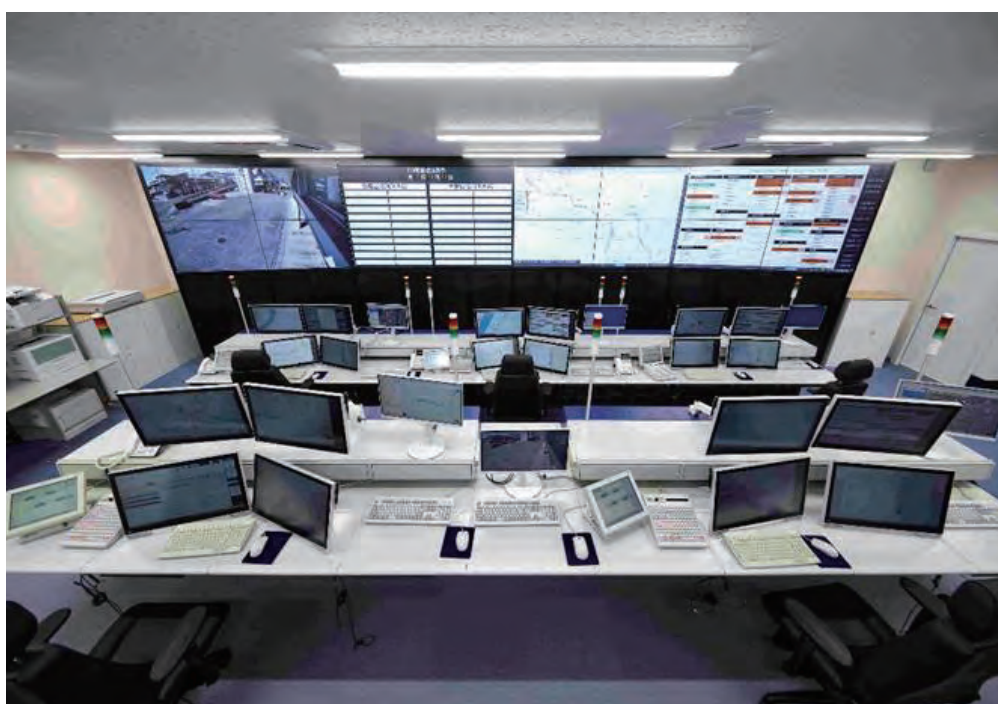
種類	資 器 材	用 途	飯田消防署	羽場分署	伊賀良消防署	山本分署	龍江分署	高森消防署	座光寺分署	阿南消防署	平谷分署	和田分署	合 計
防護服	陽圧式化学防護服	レ ベ ル A 用	5										5
	放射線防護服	R I 用	3										3
	化学防護服	レ ベ ル B 用	19										19
	簡易型防護服 (密閉型防護服)	レ ベ ル C 用	21	3	10	3	3	6	3	5	3	3	60
	防護手袋	中低濃度酸・アルカリ	39	3	3	3	3				3		54
		有機溶剤用											
	防護長靴	ゴム半長靴	9										9
マスク	防毒マスク	全面マスク	16										16
	防塵マスク	半面マスク	23	4	13	4		13	4	10			71
測定機器	検知管式器 ガス測定器	メタノール	2										2
		アセトン											
		酢酸エチル											
		アンモニア											
		シアン化水素											
		塩化水素											
		塩素											
	複合ガス検知器	一酸化炭素	2		1			1		1		1	6
		酸素											
		可燃性ガス											
		硫化水素											
	可燃性ガス測定器	L P G											
		ガソリン他											
	放射線測定器	放射線	16		1					1			18
その他	化学剤検知紙	びらん剤	10										10
		神経剤											
	除染シャワー(一式)		1										1
	除染剤散布器		2										2

緊急消防援助隊等の派遣実績

災害名	活動内容
平成8年12月6日 「蒲原沢土石流災害」	長野県北安曇郡小谷村で「蒲原沢土石流災害」発生 長野県消防相互応援協定に基づき、10日間延60名の職員を派遣
平成16年7月13日 「新潟・福島豪雨災害」	新潟県へ緊急消防援助隊を派遣 7月13日～15日(3日間) 救助工作車他車両2台 隊員6名
平成16年7月18日 「福井豪雨災害」	福井県へ緊急消防援助隊を派遣 7月18日～19日(2日間) 救助工作車他車両2台 隊員8名
平成16年10月23日17時56分 「新潟県中越地震」	被災地へ緊急消防援助隊を派遣 長岡市妙見町母子3名生き埋め崩落現場において活動 10月25日～29日(5日間) 救助工作車他車両3台 隊員15名
平成18年7月19日 「平成18年7月豪雨災害」	岡谷市 湊、川岸地区で発生した土砂災害現場へ長野県消防相互応援協定に基づき救助隊を派遣 7月19日～21日(3日間)救助工作車他車両3台 隊員13名
平成23年3月11日14時46分 「東日本大震災」	三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震(M9.0、最大震度7)が発生、宮城県に緊急消防援助隊を派遣 3月11日～4月3日(24日間)救助工作車他車両2台 隊員76名
平成26年9月27日11時52分 「御嶽山噴火」	噴火警戒レベル1の段階で噴火、火口付近の登山客が被災した。 人的被害(長野県のみ) 死者58名、負傷者59名(重傷27名、軽傷32名)、行方不明者5名(平成27年11月現在) 長野県消防相互応援協定に基づき9月28日～10月17日(20日間)延べ47隊158名を派遣する。 (救助隊18隊90名、救急隊10隊30名、後方支援隊19隊38名) 長野県相互応援隊(13消防本部)延べ437隊1369名(20日間) 緊急消防援助隊(6都県隊)延べ648隊2685名(20日間)
平成26年11月22日22時08分頃 「長野県神城断層地震」	長野県北部(北緯36.7度、東経137.9度)を震源とする長野県神城断層地震(震源の深さ5km、規模M6.7)が発生、長野県消防相互応援協定に基づき、白馬村へ指揮隊・救助隊・後方支援隊を派遣 11月23日(2時30分～18時)3隊10名 緊急消防援助隊(6都県隊)22隊97名
平成27年7月 御嶽山噴火災害に係る 行方不明者再捜索	御嶽山噴火災害に係る行方不明者再捜索実施 長野県消防相互応援隊として再捜索隊を派遣 7月28日から11日間(捜索期間29日から9日間) 捜索隊員5名(捜索隊4名・後方支援部隊1名) (県内消防本部(捜索隊61名・後方支援部隊10名)) 捜索結果：行方不明者6名のうち1名を発見する。
令和元年10月12日～ 「令和元年東日本台風災害」 (台風第19号災害)	台風19号は、10月12日に長野県に再接近し、長野県内に初めて大雨特別警報が発表されるほどの記録的な大雨をもたらし、千曲川流域を中心とした河川の氾濫や土砂災害等により甚大な被害が発生 長野県消防相互応援協定に基づき、長野市長沼・豊野地区へ救助隊・救急隊・後方支援隊を派遣 10月13日～10月16日(4日間)、延べ10隊35名 (救助隊4隊20名、救急隊2隊6名、後方支援隊4隊9名) 長野県相互応援隊(8消防本部)延べ91隊314名(4日間) 緊急消防援助隊(統括指揮支援隊・地上隊、2都県隊)延べ143隊515名(3日間) 緊急消防援助隊(航空部隊)延べ8隊(機)52名(2日間)

災害名	活動内容
令和3年7月3日 「静岡県熱海市土石流災害」	東海地方から関東地方南部を中心に記録的な大雨のなか、静岡県熱海市伊豆山地区の逢初川で大規模な土石流が発生した。行方不明者の捜索のため、緊急消防援助隊長野県大隊として被災地に救助隊及び後方支援隊を派遣 7月12日～7月20日（9日間）1次隊～4次隊、8隊28名（救助隊4隊20名、後方支援隊4隊8名）
令和6年1月1日 「令和6年能登半島地震」	石川県能登半島でM7.6、最大震度7の地震が発生。消防庁長官の指示に基づき、長野県緊急消防援助隊として、石川県珠洲市へ、14日間延べ14隊52人を派遣。被災地では、捜索救助活動（安否不明者の捜索）、救急活動（一般の救急搬送、施設等からの広域医療搬送）、救急支援活動（救急搬送の活動支援）に従事した。 1月9日～1月22日（14日間）1次隊～4次隊、14隊52名

通信指令



「飯田・木曽消防指令センター」指令室

令和8年4月1日 運用開始

飯田・木曽消防指令センター

飯田広域消防本部と木曽広域消防本部は多様化する災害に迅速に対応するため、共同で指令センターを整備し、令和8年4月1日から運用を始めました。

(1) 通信指令設備状況

(令和8年4月1日現在)

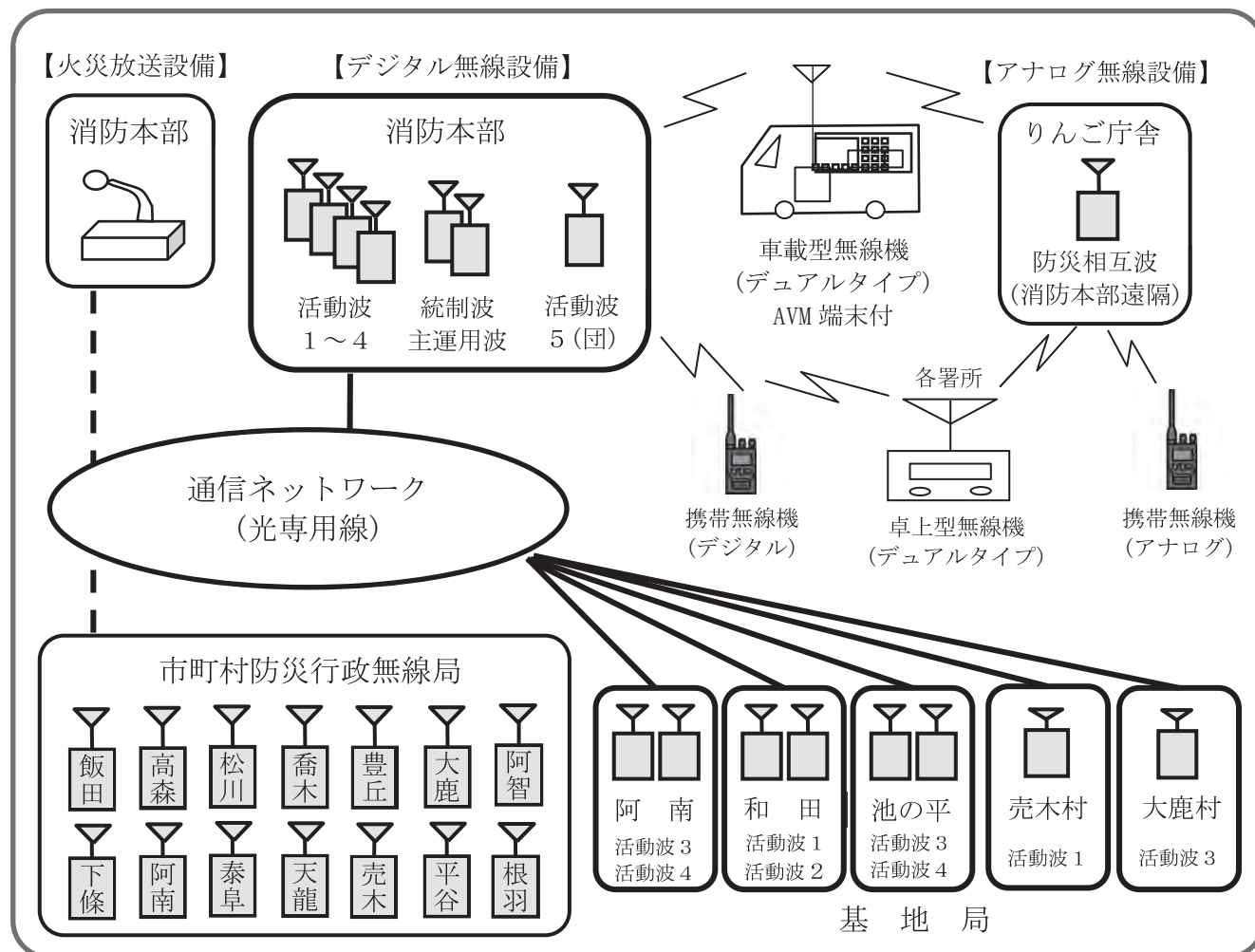
施設区分	数量	概 要	備 考
指令台	4	119 番通報等災害受付（大規模災害時 4 ⇒ 8 に拡張）	
指揮台	1	指揮統制（大規模災害時 1 ⇒ 2 に拡張）	
統合型位置情報通知装置	1	119 番通報時に災害点位置検索	
119 番回線手動受付装置	6	非常時の 119 番受付用	
自動出動指定装置	1	出動編成、活動状況管理、事案管理	
指令制御装置	1	119 番、加入電話、専用回線、指令無線統制	二重化
駆け込み通報装置	14	署所の不在時における駆け込み通報を、指令センターにて受信する装置	
映像通報システム	2	スマートフォンからの 119 番通報者に動画の送信を依頼するもの。現場の映像を指令室で確認できる。	
Net119 緊急通報システム	2	音声での 119 番通報が困難な方からのインターネット端末を利用した緊急通報の受信	
メール 119 受信装置	1	音声での 119 番通報が困難な方からの「Eメール」での緊急通報の受信	
FAX119 受信装置	1	音声での 119 番通報が困難な方からの「FAX」での緊急通報の受信	
音声合成装置	1	指令内容を音声合成装置にて各署所に伝達	
指令伝達装置	1	出動指令、「指令書」の伝送	
署所端末装置	14	出動指令、「指令書」の受信	
システム監視装置	1	システムの運用状況を監視	24 時間
長時間録音装置	1	指令台及び指揮台の通話並びに無線交信内容を録音	24 時間
指令台連動メール配信システム	1	災害情報を消防職員及び消防団員等へメール送信	登録者のみ
火災放送設備	1	市町村防災行政無線局を利用した火災放送（飯田広域消防本部管内市町村のみ）	14 市町村
緊急情報ネットワークシステム（Em-Net）	1	国と緊急情報を双方向通信するためのシステム	
多目的情報表示板	16	55 インチ×16 面	
高速道路表示板	1	飯田広域消防本部管内	
グーグルマップ連携	5	指令台地図（災害現場）とグーグルマップの連携	

緊急通報回線設置状況

	回線種別	回線数等	備考
緊急通報専用回線	固定電話NTT 固定電話IP 携帯電話	最大 14	【固定電話NTT】 飯田：9 木曽：5 【固定電話IP】 飯田 NTT：7 KDDI：7 CTC：7 NTTDB：7 木曽 NTT：7 KDDI：7 CTC：7 SB：7 【携帯電話】 飯田 各キャリア：7 木曽 各キャリア：7 【ヘルプネット】 飯田：2 木曽：2
	衛星電話	2	飯田：1 木曽：1
	映像通報システム	2	両本部共通
	Net119		
	FAX119	1	両本部共通
	メール119	1	両本部共通
	駆け込み通報装置	14	飯田：10 木曽：4

(2) 無線系設備（飯田広域消防本部）

（令和8年4月1日現在）



(3) 消防通信施設の現況

(令和8年4月1日現在)

無線関係施設

デジタル無線設備							アナログ無線設備	
種別	基地局名	局数	空中線電力(W)	活動波	統制波	主運用波	局数	周波数
基地局 (6)	消防本部	1	20	4+(1)	3 (切替方式)	1	基地局 (1)	【防災相互波】 りんご庁舎
	阿南消防署	1	20	2+(1)				
	和田分署	1	20	2+(1)				
	大鹿村	1	20	1				
	売木村	1	20	1				
	池の平	1	10	2				

(備考) (1)は消防団活用(飯田市)

種別	設 備	所有数	空中線電力(W)	活動波	統制波	主運用波	アナログ無線設備
移動局	卓上型無線装置 (デュアル型)※	10	5	5	3	7	1機(防災相互波のみ)
	車載無線装置 (デュアル型)※	61	5	5	3	7	
	携帯無線機	57	1 (5W4機)	5	3	7	
	デジタル簡易無線局	3	5	—	—	—	

※デュアル型は防災相互波搭載

種別	設 備	所有数	空中線電力(W)	活動波	備 考
固定局 (デジタル)	消防本部	1	20	1	恵那山トンネル基地局との 連絡用固定局
	NEXCO中日本 飯田保全サービスセンター	1	1	1	

I P無線設備

卓上型無線機	1	消防本部
携帯型無線機	35	消防本部2、飯田署関係6、伊賀良署関係9、高森署関係8、阿南署関係10

各種回線設置状況

	回線種別	回線数等	備 考
一般加入電話	NTT電話	17回線	消防本部(6)、消防署(4)、分署(6)
	携帯電話	20回線	消防本部(1)、消防署(5)、救急車(14)
	衛星携帯電話	5回線	消防本部(1)、消防署(4)
その他	FAX	12回線	消防本部(2)、消防署(4)、分署(6)
	防災行政無線	1回線	長野県衛星系(令和8年度更新)
	タブレット端末	22回線	消防本部(7)、消防署(9)、分署(6)
	VSAT	2回線	音声用、映像送信用

統 計

火 災
救 急
救 助
その他



火 災

月別 出火状況

(令和 7 年)

区分 月	発生件数(件)							建物焼損棟数(棟)					焼損面積(㎡)		
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空 機	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	床 面 積	表 面 積	林 野 (a)
1 月	3						3	1		1	1	3	62	6	
2 月		2				2	4								63
3 月	4	1				9	14	4	1	4	2	11	417	17	8
4 月	5					2	7	5		1	1	7	637	4	
5 月															
6 月	2					2	4				2	2			
7 月	1		1			1	3			1		1	8		
8 月		1	1			1	3								1
9 月	2	1				2	5			2		2	16	1	2
10月	2		1			1	4	8		1	1	10	353	5	
11月	1					1	2			1		1		6	
12月	3	1	1			3	8	2		2	2	6	230	34	6
合計	23	6	4			24	57	20	1	13	9	43	1,723	73	80

月	区分	死傷者(人)		り 災 人 員	り災世帯(世帯)				損害額(千円)							
		死 者	傷 者		30 日	全 損	半 損	小 損	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計
1 月									1,919						1,919	
2 月			1													
3 月	1	2		18	2	1	4	7	19,979		65			114	20,158	
4 月	1			2	1			1	6,597						6,597	
5 月																
6 月									15,701						15,701	
7 月			1	2			1	1	1,145		20				1,165	
8 月											80				80	
9 月									2,398					2	2,400	
10月	1			2	1			1	6,098		140			72	6,310	
11月									331						331	
12月	1			17	2		4	6	6,743		242				6,985	
合計		4	4		41	6	1	9	16	60,911		547			188	61,646

市町村別 出火件数

(令和7年) (件)

市町村	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
飯田市	1	1	7	2				2	2	2	1	3	21	6		1			14
松川町	1	2	1			1	3		2			1	11	4	3	1			3
高森町			1	1							1	2	5	3		1			1
阿南町				2									2	1					1
阿智村	1		1	1					1				4	4					
平谷村										1			1	1					
根羽村																			
下條村			1			1				1			3			1			2
売木村			1										1	1					
天龍村																			
泰阜村		1	1					1				2	5	1	3				1
喬木村				1									1	1					
豊丘村			1			2							3	1					2
大鹿村																			
合計	3	4	14	7		4	3	3	5	4	2	8	57	23	6	4			24

最近5年間の出火状況

(件)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	損害額(千円)
各月最高件数	21	20	29	33	15	10	12	17	13	10	13	23								
年間最高件数(平成7年)	11	19	20	16	5	6	12	17	8	3	5	21	143	49	38	6			50	502,301
最近5年間の状況	令和3年	5	14	7	11	3	4	5	7	1	5	7	73	44	7	5			17	275,099
	令和4年	8	11	13	5	3	5		5	2	1	5	61	29	7				25	202,825
	令和5年	7	7	11	14	2	1	4	3	3	2	6	66	23	11	7			25	86,336
	令和6年	2	6	12	8	9	2	5	6	3	4	3	66	38	2	6			20	117,005
	令和7年	3	4	14	7		4	3	3	5	4	2	57	23	6	4			24	61,646

市町村別 損害額・出火率

市町村	令和 6 年				令和 7 年			
	件数	構成比 (%)	損害額 (千円)	出火率	件数	構成比 (%)	損害額 (千円)	出火率
飯田市	31	47.0	52,352	3.27	21	36.7	30,508	2.25
松川町	3	4.5	4,687	2.46	11	19.2	17,667	9.18
高森町	6	9.0	13,119	4.76	5	8.8	465	4.02
阿南町	5	7.6	4,751	12.66	2	3.5	8	5.26
阿智村	4	6.1	27,927	6.91	4	7.0	3,471	6.97
平谷村					1	1.8	1,260	27.17
根羽村								
下條村	5	7.6	8,099	14.98	3	5.3	140	9.15
売木村	2	3.0	308	40.32	1	1.8	26	20.20
天龍村								
泰阜村	1	1.5	2,118	6.99	5	8.8	4,100	36.28
喬木村	4	6.1	40	7.04	1	1.8	3,998	1.79
豊丘村	4	6.1	3,604	6.38	3	5.3	3	4.84
大鹿村	1	1.5		10.85				
合 計	66	100.0	117,005	4.41	57	100.0	61,646	3.87

(備考) 出火率とは、人口 1 万人当たりの出火件数を表し、令和 7 年の全国の出火率は2.89、長野県は3.57である。

原因別 出火件数

(令和7年) (件)

原因区分 \ 月													火災種別						計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
たばこ																			
こんろ																			
かまど																			
風呂かまど																			
炉																			
焼却炉																			
ストーブ	1												1						1
こたつ																			
ボイラー																			
煙突・煙道			2									1	3						3
排気管	1							1	1	1			2		2				4
電気機器				1		2							2					1	3
電気装置																			
電灯・電話等の配線																			
内燃機関							1								1				1
配線機器																			
火あそび																			
マッチ・ライター				1									1						1
たき火		3	6	1				2	1			1		3				11	14
溶接機・切断機				1						1			1					1	2
灯火																			
衝突の火花																			
取灰		1												1					1
火入れ	1		3								1	1	1					5	6
放火																			
放火の疑い									1		1	1	1		1			1	3
その他				1		2	2		1	1		1	5					3	8
不明・調査中			3	2					1	1		3	6	2				2	10
合 計	3	4	14	7		4	3	3	5	4	2	8	23	6	4			24	57

時間帯別 出火状況

(令和 7 年)

区分 時間帯	発生 件数	種 別(件)						死傷者(人)		発生 割合 (%)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	死 者	傷 者	
0 時台	2	2								3.5
1 時台	2			1			1			3.5
2 時台	1	1						1		1.8
3 時台										
4 時台										
5 時台										
6 時台	1			1						1.8
7 時台	1	1						1		1.8
8 時台	2		1				1			3.5
9 時台	3						3		1	5.3
10時台	8	4					4	2	1	13.9
11時台	6	1	3	1			1			10.5
12時台	2	2								3.5
13時台	9	2	1	1			5		1	15.7
14時台	1						1			1.8
15時台	7	3					4		1	12.2
16時台										
17時台										
18時台	3	1					2			5.3
19時台	2		1				1			3.5
20時台	1	1								1.8
21時台	1	1								1.8
22時台	2	2								3.5
23時台	3	2					1			5.3
不 明										
合 計	57	23	6	4			24	4	4	100.0

覚知別 通報状況

(令和 7 年)

覚知方法区分										
消防機関側		119通報			加入電話		警察電話	駆け付け通報	事後聞知	その他
通報者側		(固定)NTT以外	(固定)NTT	携帯電話	固定電話	携帯電話	—	—	—	—
件 数	57	5	9	35	1	2			5	
割合(%)	100.0	8.8	15.8	61.3	1.8	3.5			8.8	

救 急

月別・署別 救急出動件数

(令和7年) (件)

署 月	飯田消防署	羽場分署	伊賀良消防署	山本分署	龍江分署	高森消防署	座光寺分署	阿南消防署	平谷分署	和田分署	合計
1月	199	101	162	53	61	129	109	48	18	19	899
2月	169	75	117	49	46	104	88	38	8	25	719
3月	147	57	127	60	51	108	76	44	9	18	697
4月	154	63	98	55	44	95	68	44	12	14	647
5月	143	57	102	59	53	89	62	43	9	18	635
6月	148	60	95	53	52	94	83	33	7	18	643
7月	165	55	130	54	46	95	100	50	16	17	728
8月	169	63	111	53	42	120	76	38	18	20	710
9月	136	49	106	50	51	109	74	38	14	22	649
10月	160	64	119	54	44	111	78	45	14	17	706
11月	166	78	124	54	56	98	81	51	12	15	735
12月	188	73	123	59	49	125	95	29	15	10	766
合計	1,944	795	1,414	653	595	1,277	990	501	152	213	8,534

月別・事故種別 救急出動件数

(令和7年) (件)

事故種別 月	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
											転院搬送	医師搬送	その他	
1月				35	5		156	2	5	614	82			899
2月	1			29	7	1	118	1	4	487	70		1	719
3月	1			22	6	2	109	1	4	482	70			697
4月				44	10	3	117		10	404	57	2		647
5月			2	29	7	3	118		4	423	49			635
6月			2	34	10	8	102		5	427	55			643
7月	1			33	17	2	106		4	508	57			728
8月				18	11	2	124		7	498	50			710
9月	1		1	30	12	2	101	1	1	434	66			649
10月				34	5	3	139	1	9	455	60			706
11月				37	5	1	152	1	8	467	64			735
12月				33	8		128		9	535	52		1	766
合計	4		5	378	103	27	1,470	7	70	5,734	732	2	2	8,534

年齢区分・事故種別 搬送人員

(令和7年) (人)

年齢区分 \ 事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死亡												
	重症												
	中等症										2		2
	軽症												
	その他												
	計										2		2
乳幼児	死亡							1			1		2
	重症											2	2
	中等症							5			43	16	64
	軽症				6			41			137		184
	その他												
	計				6			47			181	18	252
少年	死亡												
	重症											1	1
	中等症				6		2	9		3	21	5	46
	軽症				30		15	34		2	86	3	170
	その他												
	計				36		17	43		5	107	9	217
成人	死亡				7	1		1		3	15	1	28
	重症				7	7		15		3	79	25	136
	中等症				32	29	1	50	1	13	316	72	514
	軽症				140	44	9	147	2	18	729	22	1,111
	その他												
	計				186	81	10	213	3	37	1,139	120	1,789
高齢者	死亡				6			33	1	4	130		174
	重症	2			9	4		94		2	159	173	874
	中等症				29	5		493		1	1,922	361	2,811
	軽症	1			94	12		470	2		1,373	47	1,999
	その他												
	計	3			138	21		1,090	3	7	4,015	581	5,858
合計	死亡				13	1		35	1	7	146	1	204
	重症	2			16	11		109		5	669	201	1,013
	中等症				67	34	3	557	1	17	2,304	454	3,437
	軽症	1			270	56	24	692	4	20	2,325	72	3,464
	その他												
	計	3			366	102	27	1,393	6	49	5,444	728	8,118

救急隊員の行った応急処置

(令和7年) (件)

事故種別 応急処置		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
応 急 処 置 対 象 人 員		3			366	102	27	1,393	6	49	5,444	728	8,118
止 血					37	20	3	139		4	38	1	242
固 定					249	39	9	398	2	5	58	32	792
人 工 呼 吸								3			9		12
胸 骨 圧 迫								1			2		3
心 肺 蘇 生					10	1		41		8	145		205
酸 素 吸 入		2			40	7		128		12	1,470	191	1,850
気 道 確 保					12	2		45		9	228	1	297
(う ち、気管挿管)								16			13		29
(う ち、気管挿管以外の 特定行為気道確保)					2	1		9			37		49
保 温		3			160	36	3	613	4	17	2,750	372	3,958
被 覆		1			69	41	4	319	1	12	24	3	474
在 宅 療 法 継 続								29		1	259	47	336
除 細 動					1			3			8		12
静 脈 路 確 保	CPA 前	1			5	2		6			67		81
	CPA				3	1		27		4	75		110
薬 剤 投 与	アドレナリン				3	1		27		4	71		106
	ブドウ糖										21		21
	エピペン										2		2
血 糖 値 測 定						1		4		1	195		201
そ の 他 の 応 急 処 置		3			355	106	30	1,367	6	47	5,365	688	7,916
血 圧 測 定		3			354	100	27	1,334	6	40	5,229	708	7,801
心 音・呼 吸 音 聴 取		3			229	34	5	425	3	17	2,616	174	3,506
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定		3			354	101	27	1,347	6	40	5,284	717	7,879
心 電 図 測 定		3			333	100	24	1,311	6	47	5,312	680	7,816
合 計		22			2,214	592	132	7,567	34	268	29,228	3,614	43,671

市町村別・事故種別 救急業務実施状況

事故種別 市町村	救 急 事 故 種 別																				
	出	搬	不	火災			自然災害			水難			交通事故			労働災害			運動競技		
	動 件 数	送 人 員	搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送
飯 田 市	5,426	5,134	308	1	1					2		2	212	204	20	53	54		18	18	
（旧市内）	985	919	70										41	39	5	4	4		4	4	
（座光寺）	201	189	12										16	14	2	3	3				
（松 尾）	674	646	29										38	37	2	12	12		4	4	
（下久堅）	117	109	8	1	1					1		1	2	2							
（竜 丘）	287	270	18										13	13	1	4	4		1	1	
（三 穂）	61	59	2													2	2				
（山 本）	250	237	13										2	2		3	3				
（伊賀良）	805	768	40										31	31	2	3	3		1	1	
（川 路）	152	146	7										7	8		3	3		1	1	
（龍 江）	161	156	6										6	6	1	3	3				
（千 代）	77	72	6							1		1	2	2							
（上久堅）	51	47	4										1	1							
（ 鼎 ）	764	721	45										28	26	4	5	5		3	3	
（上 郷）	674	636	39										22	20	3	4	4		4	4	
（上 村）	51	50	1																		
（南信濃）	116	109	8										3	3		7	8				
松 川 町	556	537	20	1	1								20	20	1	10	9	1			
高 森 町	689	662	31										30	30	3	8	8		5	5	
阿 南 町	276	264	14										13	14	1	3	3		1	1	
阿 智 村	446	427	23										27	28	3	5	5		1	1	
平 谷 村	32	30	2										1	1		2	2				
根 羽 村	49	48	1										5	5		1	1				
下 條 村	185	180	6	1	1								12	11	1	2	2				
壳 木 村	28	27	1										2	2		2	2				
天 龍 村	63	58	6							2		2	5	5	1	1	1				
泰 阜 村	82	77	5							1		1	1	1		3	3				
喬 木 村	271	264	9										15	14	1	8	7	1	2	2	
豊 丘 村	341	335	8										16	16	1	5	5				
大 鹿 村	65	56	9										3	3							
中 央 道	25	19	7	1		1							16	12	5						
三遠南信道																					
管 轄 外																					
合 計	8,534	8,118	450	4	3	1				5		5	378	366	37	103	102	2	27	27	

救 急 事 故 種 別																							
一般負傷			加害			自損行為			急病			転院搬送			医師搬送			資器材搬送			その他		
出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送
908	857	52	5	4	1	44	30	14	3,705	3,493	214	475	473	2	1		1				2		2
203	194	10	2	1	1	9	6	3	639	589	50	83	82	1									
42	40	2				1	1		137	129	8	2	2										
75	68	7				10	9	1	415	399	16	118	117	1	1		1				1		1
30	28	2							83	78	5												
56	49	7				5	2	3	204	197	7	4	4										
6	6								53	51	2												
46	45	1							199	187	12												
134	127	7				4	3	1	608	579	30	24	24										
34	32	2				1		1	104	100	4	2	2										
24	23	1				1		1	116	114	2	10	10								1		1
20	18	2				1	1		52	50	3	1	1										
12	12								38	34	4												
103	97	6				6	4	2	473	440	33	146	146										
102	98	4	3	3		6	4	2	459	429	30	74	74										
4	4								36	35	1	11	11										
17	16	1							89	82	7												
113	106	7	1	1		6	5	1	371	361	10	34	34										
88	85	3				9	8	1	455	432	24	94	94										
42	39	3							144	137	7	72	70	2	1		1						
90	83	7				2	2		305	292	13	16	16										
4	4								25	23	2												
8	8								34	33	1	1	1										
43	43	1				1		1	112	109	3	14	14										
10	9	1							14	14													
13	12	1							34	32	2	8	8										
15	13	2							61	59	2	1	1										
42	42	1				1	1		188	183	6	15	15										
74	75		1	1		5	3	2	240	235	5												
18	15	3				2		2	40	36	4	2	2										
2	2								6	5	1												
1,470	1,393	81	7	6	1	70	49	21	5,734	5,444	294	732	728	4	2		2				2		2

医療機関別・事故種別 搬送人員

(令和7年) (人)

報告等 の 別	事故種別等 開設者別		急	病 うち 管外	交通事故 うち 管外		一般負傷 うち 管外		その他 うち 管外		合	計 うち 管外
救急告示医療機関	国立		17	17	5	5	6	6	18	18	46	46
	公立		2,600	10	221		810		654	4	4,285	14
	公的		512		18		74		44	17	648	17
	私的	病院	2,275	1	85		426		192	2	2,978	3
		診療所	25		37		76		3		141	
	小計		5,429	28	366	5	1,392	6	911	41	8,098	80
その他の医療機関	国立											
	公立		7	3							7	3
	公的											
	私的	病院							2		2	
		診療所	8				1		2		11	
	小計		15	3			1		4		20	3
医療機関計	国立		17	17	5	5	6	6	18	18	46	46
	公立		2,607	13	221		810		654	4	4,292	17
	公的		512		18		74		44	17	648	17
	私的	病院	2,275	1	85		426		194	2	2,980	3
		診療所	33		37		77		5		152	
	累計		5,444	31	366	5	1,393	6	915	41	8,118	83
その他の場所	接骨院等											
	その他											
	計											
合計			5,444	31	366	5	1,393	6	915	41	8,118	83

最近５年間の救急出動件数

(件)

事故種別 年	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
令和３年	8		9	309	67	30	1,185	11	39	4,637	654	6,949
令和４年	4	1	6	314	91	29	1,347	13	42	5,244	644	7,735
令和５年	9	1	8	385	71	31	1,352	11	51	5,735	644	8,298
令和６年	14	1	9	344	88	35	1,463	13	53	5,795	748	8,563
令和７年	4		5	378	103	27	1,470	7	70	5,734	736	8,534

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

講習等 年	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習		合 計	
	受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	回数
令和３年	993	82	44	4	3,074	139	4,111	225
令和４年	644	64	27	3	2,280	129	2,951	196
令和５年	1,867	143	45	8	3,956	198	5,868	349
令和６年	1,817	158	55	6	3,641	189	5,513	353
令和７年	1,358	124	105	10	4,618	200	6,081	334
合 計	6,679	571	276	31	17,569	855	24,524	1,457

飯伊地域メディカルコントロール事後検証会実施状況

内容 年	事後検証会		書面検証 (件)	参加検証医 (人)	参加救急隊員 (人)
	実施回数	検証件数			
平成15年～ 令和２年	205回 第１回～第 205 回	771	3,047	840	6,733
令和３年	10回 第206回～第215回	39	203	32	326
令和４年	２回 第216回～第217回	6	180	4	65
令和５年	11回 第218回～第228回	42	103	33	580
令和６年	11回 第229回～第239回	43	262	29	546
令和７年	12回 第240回～第252回	45	290	31	527
合 計		946	4,085	969	8,777

(備考) 検証は、特定行為実施症例、心拍再開症例、65歳以下症例、特異事例症例等を実施。

救 助

救助出動状況

(令和 7 年)

事故種別 件数区分	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破 裂 事 故	その他の事故	合 計
出動件数	4	42	5		7	14	3		35	110
活動件数	4	30	4		4	12	3		31	88
救助人員	4	37	3		4	12	3		30	93

人員・車両区分別 救助活動状況

(令和 7 年)

事故種別 人員区分(人) 車両区分(台)		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破 裂 事 故	その他の事故	合 計
出動人員	救 助 隊 員	16	162	19		29	39	12		157	434
	消 防 隊 員	63	166	30		27	44	15		119	464
	救 急 隊 員		190	19		21	37	9		92	368
	合 計	79	518	68		77	120	36		368	1,266
活動人員	救 助 隊 員	16	90	15		7	29	8		119	284
	消 防 隊 員	63	96	15		15	35	15		101	340
	救 急 隊 員		97	13		12	31	9		64	226
	合 計	79	283	43		34	95	32		284	850
出動車両	救助工作車	4	40	4		7	11	3		20	89
	ポ ン プ 車	12	30	2		6	8	3		14	75
	救 急 車		60	6		7	13	3		30	119
	その他車両	8	39	14		6	9	3		67	146
	合 計	24	169	26		26	41	12		131	429
活動車両	救助工作車	4	22	3		2	8	2		13	54
	ポ ン プ 車	10	19			2	7	3		12	53
	救 急 車		30	4		4	11	3		21	73
	その他車両	7	23	10		3	8	3		56	110
	合 計	21	94	17		11	34	11		102	290

市町村別・事故種別 救助出動状況

(令和7年)

事故種別 市町村	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員	事故種別																										
				火災			交通事故			水難事故			風水害等 自然災害			機械に よる事故			建物等 による事故			ガス及び 酸欠事故			破裂事故			その他の 事故		
				救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員	救助 出動 件数	救助 活動 件数	救助 人員
飯 田 市	52	39	43	3	3	3	22	15	21	3	2	1				2	1	1	10	9	9	1	1	1				11	8	7
(旧市内)	12	10	11	1	1	1	3	3	4										3	3	3							5	3	3
(座光寺)	2	2	3				2	2	3																					
(松 尾)	8	5	7				6	3	6	1	1								1	1	1									
(下久堅)																														
(竜 丘)	2	2	2				1	1	1										1	1	1									
(三 穂)																														
(山 本)	3	2	2				1									1	1	1										1	1	1
(伊賀良)	5	3	3				2												2	2	2							1	1	1
(川 路)	2	2	2				1	1	1													1	1	1						
(龍 江)	1	1																										1	1	
(千 代)	1	1	1							1	1	1																		
(上久堅)	1	1	1	1	1	1																								
(鼎)	6	3	3	1	1	1				1						1			3	2	2									
(上 郷)	4	4	5				4	4	5																					
(上 村)	1	1	1				1	1	1																					
(南信濃)	4	2	2				1																					3	2	2
松 川 町	4	2	2													2			1	1	1							1	1	1
高 森 町	9	7	7				5	3	3							1	1	1	1	1	1							2	2	2
阿 南 町	6	6	6				2	2	2										1	1	1							3	3	3
阿 智 村	10	9	10				4	3	4																			6	6	6
平 谷 村																														
根 羽 村	1																		1											
下 條 村	2	1	1				1									1	1	1												
売 木 村																														
天 龍 村	4	4	4							1	1	1																3	3	3
泰 阜 村	4	4	4							1	1	1																3	3	3
喬 木 村	4	4	4	1	1	1	1	1	1							1	1	1										1	1	1
豊 丘 村	7	6	6				4	3	3													1	1	1				2	2	2
大 鹿 村	5	4	4				1	1	1													1	1	1				3	2	2
中 央 道	2	2	2				2	2	2																					
三遠南信道																														
管 轄 外																														
合 計	110	88	93	4	4	4	42	30	37	5	4	3				7	4	4	14	12	12	3	3	3				35	31	30

月別・署別 救助出動件数

(令和7年) (件)

月 \ 署	飯 田 消防署	伊賀良 消防署	高 森 消防署	阿 南 消防署	その他	合 計
1 月	3	1	2			6
2 月		1	4	2		7
3 月	4		1	1		6
4 月	1	2	5	4		12
5 月	2	3	3	1		9
6 月	1	5	2	1		9
7 月	3	2	1			6
8 月	3	2	2	2		9
9 月	2	2	1	9		14
10月	2	3	8	2		15
11月	3	2	2	1		8
12月	3	4	1	1		9
合 計	27	27	32	24		110

最近5年間の救助出動件数

(件)

事故種別 \ 年	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	よ機 る械 事 故に	よ建 る物 事 故に	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	事そ の 他 故の	合 計
令和3年	3	26	11		5	7	1		36	89
令和4年	1	24	10		6	9	1		49	100
令和5年	4	33	11		2	15	1		42	108
令和6年	1	33	13		2	16	3		36	104
令和7年	4	42	5		7	14	3		35	110

その他

ヘリコプターとの連携状況

(1) 市町村別

(令和7年)

ヘリ種別 市町村	防災ヘリ等		ドクターヘリ		合 計	
	要請件数	活動件数	要請件数	活動件数	要請件数	活動件数
飯田市		1 (1)	7	4	7	5 (1)
松川町			1	1	1	1
高森町						
阿南町			10	7	10	7
阿智村	2	2 (1)	2	1	4	3 (1)
平谷村			1		1	
根羽村			4	4	4	4
下條村			4	4	4	4
売木村			2	1	2	1
天龍村			8	5	8	5
泰阜村	1	1	1		2	1
喬木村						
豊丘村						
大鹿村			10	8	10	8
管轄外						
合 計	3	4 (2)	50	35	53	39 (2)

(2) 災害別

(令和7年)

年	ヘリ種別 災害種別	防災ヘリ等		ドクターヘリ		合 計	
		要請件数	活動件数	要請件数	活動件数	要請件数	活動件数
令和7年	火 災						
	救 急			50	35	50	35
	救 助	3	4 (2)			3	4 (2)
	合 計	3	4 (2)	50	35	53	39 (2)
令和6年	火 災						
	救 急			33	23	33	23
	救 助	4	2 (1)			4	2 (1)
	合 計	4	2 (1)	33	23	37	25 (1)

(備考) 1 () は他県ヘリ及び県警ヘリの件数で内数

2 要請したが活動のなかった事案とは、ヘリが他事案対応中、天候不良によるフライト不可、傷病者の状態や救急隊の判断等でヘリを不要としたもの。

3 消防からの要請ではない県警ヘリとの連携活動があった場合は、活動件数のみの件数計上となる。

4 医療機関から直接要請したドクターヘリ事案（病院間搬送等）は含まない。

種別・署別 出動状況

種別	署	飯田消防署		羽場分署		伊賀良消防署		山本分署		龍江分署		高森消防署	
		回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
火 災		25	186	8	24	24	108	5	15	5	15	22	141
救 急		1,944	5,869	795	2,410	1,414	3,963	653	1,982	595	1,786	1,277	3,908
救 助 活 動		85	455	13	41	22	101	10	29	2	6	32	197
風水害等の 災 害													
演 習 ・ 訓 練 等		12	45	5	15	3	13	16	31	13	33	11	18
広 報 ・ 指 導		47	83	74	180	137	274	82	153	44	83	76	121
警 防 調 査		26	83	39	120	15	46	19	52	26	75	12	20
火 災 調 査		6	15	1	1	12	32					14	38
特 別 警 戒						1	3	2	6			17	39
捜 索		1	2									1	3
予 防 査 察		83	156	6	12	79	169	10	19	7	11	46	103
誤 報 等		3	13	1	3	2	7	3	10			2	4
そ の 他		100	286	31	81	96	233	37	80	28	50	132	391
合 計		2,332	7,193	973	2,887	1,805	4,949	837	2,377	720	2,059	1,642	4,983

(令和 7 年)

座光寺分署		阿南消防署		平谷分署		和田分署		消防本部		令和 7 年合計		令和 6 年合計	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
7	22	11	76	3	10			1	2	111 (57)	599	135 (66)	669
990	3,013	501	1,549	152	457	213	642			8,534	25,579	8,563	25,950
18	58	24	148	1	4	4	13			211 (110)	1,052	197 (104)	982
3	5	11	72	6	21	2	4	3	6	85	263	67	304
43	93	137	226	65	128	127	272	109	195	941	1,808	885	1,592
7	15	40	92	14	36	6	11			204	550	177	490
2	7	12	40					5	10	52	143	89	239
		2	4							22	52	32	75
										2	5	2	2
7	15	60	107	14	22	6	10	48	96	366	720	251	499
										11	37	12	44
20	61	171	309	24	33	46	99	3	9	688	1,632	1,332	2,298
1,097	3,289	969	2,623	279	711	404	1,051	169	318	11,227	32,440	11,742	33,144

(備考) () は、火災の発生件数及び救助活動の出動件数

月別 119番等緊急通報受付状況

(令和7年) (件)

種別 月	火災	救急	救助	その他の災害	応答なし	いたずら	間違い	試験	通報訓練	病院案内	問い合わせ	その他	転送	合計
1	13	911	8	9	10	1	46	43	24	24	51	89	4	1,233
2	4	733	8	18	9		27	50	30	15	31	55	2	982
3	37	698	4	10	12		41	117	58	18	26	47	3	1,071
4	12	657	10	10	12		40	75	35	23	47	45	2	968
5	1	643	8	9	13	1	28	46	45	19	46	49	6	914
6	2	653	8	17	14	2	29	67	65	11	43	38	2	951
7	3	735	6	14	26		24	39	45	25	48	56	4	1,025
8	3	708	10	23	22	1	37	61	31	14	30	47	5	992
9	8	646	12	17	21		26	100	69	16	19	63	4	1,001
10	8	704	17	11	20		26	80	71	20	24	35	2	1,018
11	2	745	5	11	24	1	35	56	76	14	29	41	5	1,044
12	18	772	8	14	40	1	26	66	49	18	39	59	8	1,118
合計	111	8,605	104	163	223	7	385	800	598	217	433	624	47	12,317

月別・受付回線別 119番等緊急通報受付状況等

(令和7年) (件)

種別 月	119番種類別			その他				令和7年 通報合計	令和6年 通報合計	令和5年 通報合計	令和7年 テレホン サービス
	NTT	IP等	携帯	FAX 119	メール 119	Net 119	その他				
1	271	377	537		6	1	41	1,233	1,028	1,046	49
2	205	307	428		2	4	36	982	899	866	35
3	254	349	440		4	1	23	1,071	1,041	1,003	143
4	192	280	451	2	1	2	40	968	902	975	73
5	185	274	418	1		1	35	914	966	986	27
6	171	285	451	2		4	38	951	976	951	19
7	195	280	512			2	36	1,025	1,093	1,087	40
8	182	265	502	2			41	992	1,079	1,139	31
9	198	294	477		1	1	30	1,001	970	1,047	97
10	199	284	492	1	2	2	38	1,018	1,014	1,032	87
11	182	311	510	1	1	1	38	1,044	1,097	1,075	33
12	188	341	558	1	1		29	1,118	1,227	1,050	63
合計	2,422	3,647	5,776	10	18	19	425	12,317	12,292	12,257	697

(備考) 「その他」については、駆け込み、普通電話等による緊急通報

知事の権限に属する事務の処理の概要

(1) 火薬類取締法関係

(令和7年度)

火薬取締法(以下「法」という。)及び火薬類取締法施行令の規定に基づく次の事項			事務処理件数				
			合計	飯田	伊賀良	高森	阿南
(1)	法第17条第1項の規定による火薬類の譲渡し又は譲受の許可	譲受	21		2	14	5
		譲渡	6			4	2
(2)	法第17条第3項の規定による火薬類の譲渡し又は譲受の許可の取り消し	譲受					
		譲渡					
(3)	法第17条第4項の規定による許可証の交付		27		2	18	7
(4)	法第17条第6項の規定による有効期間の認定		27		2	18	7
(5)	法第17条第7項の規定による許可証の書換え						
(6)	法第17条第8項の規定による許可証の再交付						
(7)	法第25条第1項の規定による火薬類の消費の許可		94	11	27	30	26
(8)	法第25条第3項の規定による火薬類の消費の許可の取消						
(9)	法第27条第1項の規定による廃棄の許可						
(10)	法第29条第4項の規定による保安教育計画を定めるべき者の指定		18		1	13	4
(11)	法第29条第5項において準用する同条第1項の規定による保安教育計画の設定又は変更の認可		18		1	13	4
(12)	法第30条第3項の規定による取扱保安責任者又は取扱副保安責任者の選任又は解任の届出の受理((7)の許可に係わるものに限る。(13)から(15)までにおいて同じ。)		48		7	33	8
(13)	法第33条第2項の規定による取扱保安責任者の代理者の選任又は解任の届出の受理		40		1	35	4
(14)	法第34条第2項の規定による取扱保安責任者の解任命令						
(15)	法第42条の規定による報告の徴収						
(16)	法第43条第1項の規定による立入検査等((1)、(7)及び(9)の許可に係わるものに限る。(17)から(20)までにおいて同じ。)		80	11	26	20	23
(17)	法第45条の規定による緊急措置						
(18)	法第46条第2項の規定による災害等発生時における報告の聴取		2	1			1
(19)	法第47条の規定による災害等発生時における現状変更の指示						
(20)	法第48条第1項の規定による許可条件の設定		94	11	27	30	26
(21)	法第52条第1項の規定による公安委員会の意見の聴取		47	9	17	8	13
(22)	法第52条第2項の規定による公安委員会への通報((1)、(2)、(7)から(9)まで及び(17)の許可等に係わるものに限る。)		119	11	27	48	33
(23)	火薬類取締法施行令第2条の規定による許可証の返納の受理		18		3	11	4
合 計			659	54	143	295	167

(2) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律関係

(令和7年度)

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)の規定に基づく事務事項	事務処理件数				
	合計	飯田	伊賀良	高森	阿南
第38条の3の規定による液化石油ガス設置工事の届出の受理	10	6	3		1

(備考) 事務事項は、知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例(平成11年長野県条例第46号)別表に定める項及び号と整合するものである。

消 防 団



第67回長野県消防ポンプ操法大会・第34回長野県消防ラッパ吹奏大会
飯伊消防協会当日激励（令和7年7月13日）



飯田市消防団1日消防団体験（令和7年10月11日）



令和7年度 幹部基礎強化訓練（令和7年10月26日）

関係市町村の消防団長・副団長

(令和8年4月1日現在)

市 町 村 名	団 長 名	副 団 長 名
飯 田 市	坂 巻 剛 弘	黒 岩 正 明
		滝 沢 功
		前 島 大 介
松 川 町	光 澤 宏 二	米 山 毅 彦
高 森 町	北 條 智 也	中 平 篤 志
阿 南 町	佐々木 哲 也	伊 藤 慎 吾
阿 智 村	熊 谷 昂 彦	佐々木 史 光
平 谷 村	川 上 英 智	宮 澤 友 希
根 羽 村	松 下 剛 樹	佐々木 邦 敏
下 條 村	佐 藤 賢 基	田 本 淳
売 木 村	村 澤 健 吾	後 藤 博 之
天 龍 村	宮 下 正 和	坂 田 一 万
泰 阜 村	松 下 健 太	玉 井 真 吾
喬 木 村	内 山 丞 治	林 克 則
豊 丘 村	北 澤 和 裕	片 桐 康 次
大 鹿 村	相 澤 正 昇	中 村 勝 利

消防団員の現況

(1) 年齢別消防団員数

(令和8年4月1日現在) (人)

市町村 年齢別	飯 田 市	松 川 町	高 森 町	阿 南 町	阿 智 村	平 谷 村	根 羽 村	下 條 村	売 木 村	天 龍 村	泰 阜 村	喬 木 村	豊 丘 村	大 鹿 村	合 計
分団数	18	2	3	1	7	1	1	5	1	1	2	2	3	1	48
条例 定数	839	296	200	150	420	40	60	140	50	60	90	180	180	40	2,745
20歳 未満	1		5 (4)	1	2	1	1 (1)	1 (1)			1	1			14 (6)
20歳～ 29歳	235 (21)	52 (8)	66 (6)	34	50 (6)	6	17 (2)	68 (7)	8	17 (5)	24	50 (6)	28 (10)	12 (3)	667 (74)
30歳～ 39歳	349 (12)	89	67 (2)	36 (2)	119 (12)	16	19 (4)	59 (1)	9	14	35	59	57	18 (3)	946 (36)
40歳～ 49歳	116 (1)	57	7	34 (2)	124 (11)	13	12 (1)	1	4	8	2	10	21	4 (1)	413 (16)
50歳 以上	24	13		30 (3)	14							31	74	2	188 (3)
団員数	725 (34)	211 (8)	145 (12)	135 (7)	309 (29)	36	49 (8)	129 (9)	21	39 (5)	62	151 (6)	180 (10)	36 (7)	2,228 (135)
平均 年齢	33.4	35.6	29.7	38.9	37.8	36.1	33.0	28.9	32.2	31.9	31.1	30.8	30.5	34.1	32.9

(備考) 1 下段 () は、女性団員数で内数

2 「令和8年度消防現勢等調査」により作成

(2) 消防機械の現況

(令和8年4月1日現在) (台)

市町村 車種等	飯 田 市	松 川 町	高 森 町	阿 南 町	阿 智 村	平 谷 村	根 羽 村	下 條 村	売 木 村	天 龍 村	泰 阜 村	喬 木 村	豊 丘 村	大 鹿 村	合 計 台 数
消防ポンプ自動車	12	4	2	3	1	1	1								24
小型動力ポンプ付積載車	61	8	11	21	20	3	11	5	4	10	7	14	15	8	198
小型動力ポンプ	8		1		19	4	2	15	2	1		15		2	69
小 計	81	12	14	24	40	8	14	20	6	11	7	29	15	10	291

(備考) 「令和8年度消防現勢等調査」により作成

(3) 消防団出動状況

(令和7年)

種別 市町村		火 災	救 助 活 動	風 水 害 等 災 害	演 習 ・ 訓 練 等	広 報 ・ 指 導	警 防 調 査	特 別 警 戒	捜 索	予 防 査 察	誤 報 等	そ の 他	合 計
飯 田 市	出 動 回 数	19	1		916	806	9	95		5,987	1	12	7,846
	出動延人員	867	3		8,707	4,707	67	983		504	243	167	16,248
松 川 町	出 動 回 数	9			167	47			1				224
	出動延人員	637			3,231	723			12				4,603
高 森 町	出 動 回 数	1			42	36		3			1		83
	出動延人員	48			550	720		110			52		1,480
阿 南 町	出 動 回 数	3			12	1			1	2			19
	出動延人員	127			277	14			27	78			523
阿 智 村	出 動 回 数	3			15	6		16		4			44
	出動延人員	151			683	300		343		327			1,804
平 谷 村	出 動 回 数	2											2
	出動延人員	24											24
根 羽 村	出 動 回 数												
	出動延人員												
下 條 村	出 動 回 数	3			36	24							63
	出動延人員	134			822	360							1,316
売 木 村	出 動 回 数	2			2		1	2		2			9
	出動延人員	29			21		14	17		21			102
天 龍 村	出 動 回 数				8	1		2	2			1	14
	出動延人員				88	10		22	42			13	175
泰 阜 村	出 動 回 数	5			12			1	2	3		21	44
	出動延人員	229			258			68	86	132		162	935
喬 木 村	出 動 回 数	3											3
	出動延人員	163											163
豊 丘 村	出 動 回 数				18	56				2			76
	出動延人員				615	1,035				54			1,704
大 鹿 村	出 動 回 数		2		6	4		4	2				18
	出動延人員		62		186	43		55	62				408
合 計	出 動 回 数	50	3		1,234	981	10	123	8	6,000	2	34	8,445
	出動延人員	2,409	65		15,438	7,912	81	1,598	229	1,116	295	342	29,485

(備考) 「令和8年度消防現勢等調査」により作成

関係団体



南信州危険物安全協会 研修視察（味の素株式会社 東海事業所）
令和7年10月10日（金）



飯田地区防火管理者協議会 研修視察（彦根城）
令和7年11月28日（金）

南信州危険物安全協会 (令和8年4月1日現在)

1 会の目的

本会は、会員相互の融和親睦と危険物の取り扱い及び管理の向上を図り、これに因る災害防止に努め、もって各事業所の健全なる振興発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的とする。

2 会員 (244会員)

一般会員数	203
賛助会員数	41

3 危険物施設数 (265施設)

指定数量	10倍未満	96
指定数量	10倍以上300倍未満	161
指定数量	300倍以上1000倍未満	7
指定数量	1000倍以上	1

4 発足年月日 昭和29年5月1日

飯田地区防火管理者協議会 (令和8年4月1日現在)

1 会の目的

この会は、消防関係法令の定める防火管理に関する研究を行い、安全管理を徹底し、災害の未然防止に努め、社会公共の福祉増進に寄与することを目的とする。

2 会員 (401会員)

(1) 一般会員 (386会員)

部会別	業 種 別	防 火 対 象 物	会員数
第1部会	工場関係	工場・作業所・自動車車庫・倉庫	54
第2部会	学校関係	小中学校・高等学校・大学・各種学校・幼稚園・児童福祉施設	78
第3部会	官公署事務所関係	官公署・事務所・銀行・図書館	55
第4部会	公衆収容関係	映画館・遊技場・料理店・飲食店・百貨店・店舗・浴場	58
第5部会	宿泊収容関係	旅館・ホテル・病院・老人ホーム・寄宿舍・共同住宅	75
第6部会	公衆集合関係	神社・寺院・公会堂・集会場	66

(注) 複合防火対象物は、その主たる用途により分類する。

(2) 賛助会員 (15会員)

3 発足年月日 昭和37年7月4日

飯田地区幼少年婦人防火委員会 (令和8年4月1日現在)

1 会の目的

この会は、幼年消防クラブ・少年消防クラブ及び婦人防火クラブの新たな結成及び既成クラブのクラブ員の増員並びに活動の充実を推進することを目的とする。

2 事業

この会は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 防火・防災知識の普及徹底
- (2) 防火・防災のための研修及び訓練
- (3) 各クラブの組織の拡大及び強化
- (4) 各クラブ間の連絡及び調整
- (5) 優良クラブの表彰
- (6) その他本委員会の目的達成のため必要と認める事項

3 クラブ数

市町村	婦人防火クラブ	少年消防クラブ	幼年消防クラブ
飯田市		4	38
松川町		1	5
高森町			4
阿南町			3
阿智村		1	6
平谷村			1
根羽村		1	1
下條村			1
売木村			1
天龍村		1	1
泰阜村			1
喬木村		1	2
豊丘村			3
大鹿村			1
計		9	68

4 発足年月目 平成2年10月1日

消 防 年 報

2 0 2 6

発 行 令和 8 年 9 月

編 集 飯田広域消防本部

飯田市東栄町3345番地

TEL (0265) 23-0119

FAX (0265) 23-6007

南信州